

KADENA

KADENA TOWN ADMINSTRATIVE GUIDE 2021



嘉手納町 町勢要覧 2027

かがやく、 嘉手納町

進化・変革と遂げながら活性化し 住みよいまちづくり 「ひと、みらい輝く交流のまちかでな」 を目指して

Keeping Kadena town bright through renovation and transformation, to a revitalizing and comfortable town where its "people and future shine through exchanges."



CONTENTS

【目 次】





Kadena Town Handbook 2021

- 01 目次 Table of contents
- ()2 発刊にあたって Greetings from the mayor
- 03 嘉手納町の概要 Overview of the town
- **04** 特集: かがやく、 嘉手納 Special feature: Bright, Kadena
- 06 かがやく、嘉手納のスポット
- 10 かがやく、嘉手納の人 The people of Kadena
- 12 かがやく、嘉手納のモノ・コト Things and parts of Kadena
- 18 嘉手納の祭り The Kadena festival
- 20 嘉手納の文化財 Kadena's cultural heritages
- 22 嘉手納の人物・史跡 Historic people and historic sites
- 24 嘉手納の歴史 Kadena's history
- 28 米軍嘉手納基地 The US Kadena Air Base

- 5つのまちづくり Five pillars for town development
 - 生涯にわたり、健康と夢・希望を育む
- 健やかなまちづくり
- 基本計画 2 地域の歴史・メルにようできる。 学び続ける魅力ある人づくり 地域の歴史・文化に誇りを持ち、
- 基本計画 3 安全・安心で住みよいまちづくり Pillar 3: Creating a safe, secure and comfortable town
- 基本計画 4 活力に満ちた賑わいのあるまちづくり
- 基本計画 5 皆でとりくむ協働のまちづくり
- 行政・議会 Administration & town council
- 資料編・町歌 Resources & town song
- 嘉手納町 MAP Map of Kadena town



嘉手納町のイメージ動画を こちらからご覧いただけます。 See the town's video from here



発刊にあたって

本町は、沖縄本島の中部に位置し古くからの交通の要衝で、東シナ海に面した西海岸線に接する町であります。町の面積は、15.12 平方kmあり、その約82%が、嘉手納基地として接収されております。こうした中、まちづくりなどに多大な制約を受けながらも、定住促進事業や子育て支援、福祉施策、教育施策などを取り組んでまいりました。

また、音楽や芸能が盛んな町で、音楽祭など 各種イベントが日常的に行われており、懐が 深い地域コミュニティーが自慢のまちであり ます。

令和元年度から「第5次嘉手納町総合計画」がスタートし、「ひと、みらい輝く交流のまちかでな」を将来像に掲げており、これまで「信頼」、「発展」、「継承」の3つを基本理念として、活力に満ちたまちづくり、人に優しいまちづくり、そして文化の薫るまちづくりを進めてまいりました。

今回の要覧では、「第5次嘉手納町総合計画」をもとに本町のまちづくりを紹介しており、「かがやく」をテーマに嘉手納町のスポット、人物、モノなどを取り上げております。

この町勢要覧を通して町の魅力がより多く の人に届き、本町に訪れていただけたら幸い であります。

嘉手納町長 當山宏

Message from the mayor

Kadena town is located in the central part of the main island of Okinawa, and has been a transportation high throughout history as a town on the west coast facing the East China Sea. While the area of the town is 15.12 square kilometers, 82% of it is occupied by Kadena Air Rase.

Nonetheless, the town has kept promoting community development, education and welfare policies for its residents to better their livelihoods even under restrictive circumstances.

The town is also known for its rich culture of music and performative arts. With various events such as music festivals held on a regular basis, exemplifying the community's strong hospitality. The "5th Kadena Town Comprehensive Plan" started in the first year of Reiwa, and the goal is to develop a town where its "people and future shine through exchanges."

Through focusing on "trust, development and heritage" we strive to become a truly vibrant and people-centered town.

This handbook sheds light on the town based on the "5th Kadena Town Comprehensive Plan", and covers the places, people and things of Kadena that bring out our "brightness".

We hope that this handbook becomes a guide and an invitation for people to understand the rich culture of this town.

Mayor of Kadena, Hiroshi Toyama

kadena's profile

位 置

嘉手納町は、沖縄本島の中部に位置し、東シナ海に面する海岸線沿いにあって、那覇市から北へ約23キロメートルの地点にある。北は比謝川を境に読谷村に、南東部は嘉手納飛行場内で北谷町、沖縄市と境界を接している。

町 章



「かでな」の頭文字を飛鳥のイメージに図案化し、町民の親和と団結を表すと共に町勢の向上発展を単純明快に象徴化したものです。(昭和48年5月17日制定)

町の概要

面 積 15.12平方km

人□密度 1平方kmあたり886.7人

世帯数 5,654世帯

人 口 13,406人

(令和2年12月31日現在)

歷史

嘉手納町は戦前、北谷町の一行政区域で、沖縄本島のほぼ中間という地理的条件に恵まれていたため、県営鉄道嘉手納線が運行する陸交通路の要衝にあって県立農林学校をはじめ、青年師範学校、警察署、沖縄製糖株式会社嘉手納工場等が所在し、中頭郡における教育、文化、経済の中心地としての役割を果たしていた。沖縄八景に数えられた風光明媚な比謝川には、県下各地から汽帆船が比謝橋付近まで出入りし、中頭郡における集散地としても盛んなところで、人、自然、産業の調和のとれた町として発展を遂げてきた。

しかし、昭和19年日本陸軍沖縄中飛行場が建設されたこともあって、第2次大戦における米軍の沖縄本島最初の上陸地点となり、その集中砲火はし烈を極め、住居をはじめ、生産施設や貴重な文化遺産のすべてを破壊され、文字どおり焦土と化し、昭和20年8月15日の終戦を迎えるに至った。

戦後は、昭和23年4月頃まで、嘉手納飛行場内の部分的通行が可能であったが、その後、米軍の飛行場管理が強化され、全面的に通行立入が禁止されたため、村域が完全に二分された。このため、昭和23年12月4日付けで分離独立し「嘉手納村」としての第一歩を踏み出した。ところが、分村まもない昭和25年、朝鮮戦争の勃発によって米軍は嘉手納飛行場を「極東最大の空軍基地」として重要視し、遂年整備拡張され、昭和42年には4000メートル級の2本の滑走路を完成させ、実に町面積の82%にのぼる膨大な面積が同飛行場や嘉手納弾薬庫地区として接収され、住民は残された18%のわずかな土地での生活を余儀なくされた。このため地域活性化の主柱となる生産活動の基盤整備やまちづくりなど大きな制約を受け、恒常的に発生する航空機騒音等もあって町の衰退の要因となり、「基地の島、沖縄の縮図」といわれてきた。

本町では、広大な米軍基地の所在による閉塞感を緩和し、町の活性化を促進するため、沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業、通称「島田懇談会事業」により、総事業費218億円余をかけてタウンセンター開発事業、マルチメディア関連企業誘致事業、総合再生事業を実施し、平成20年3月に完成した。



かがやく、"Places" in Kadena that shino bright

かがやく 嘉手納町

嘉手納の「スポット」

県内最大級の河川が流れる風光明媚な嘉手納町。その豊かな自然を生かした スポットをはじめ、町民や県外の人々にも親しまれているスポットをご紹介します。

Kadena Town is a scenic town with one of the largest rivers in the prefecture. Taking note of its rich nature here we introduce places that are both familiar to our townspeople but also well regarded from people outside our prefecture.

道の駅 かでな

嘉手納町内を走る県道74号線沿いに建つ道 の駅では、平成15年のオープン以来、嘉手納町 す。町内の特産品販売をはじめ、飲食はもちろ ん、嘉手納基地を一望できる屋上展望も人気で

Roadside station scheduled to be renewed in 2022 At the roadside station

At the roadside station built along Prefectural Road 74, which runs through Kadena town, has always been a favorite for crowds since it opened in 2003 as a sightseeing spot for Kadena town, In addition to selling special local products from the town, it has numerous places for eating and drinking, as well as the popular rooftop viewing area overlooking Kadena Air Base. In addition, we have been and are carrying out renewal work planned to be ted and ready for service in the 4th year of Reiwa.

²2年 の道の駅





比謝川緑地自然 体験センター(仮称)

沖縄本島中部を流れ、流域面積が本島で最も大き な河川。嘉手納町の北側を流れ、緑や水辺といった 自然を利用した遊歩道が整備されています。また、 令和4年の供用開始に向け「展示室」や「交流広場」を 兼ねた比謝川緑地広場整備事業をを行っています。

A river that flows through the central part of the main island of Okinawa and has the largest basin area. It runs on the north side of Kadena town and has a promenade that utilizes its lush greenery and rich waterside. In addition, we are conducting a project to improve the Hija river green space, which doubles as an "exhibition room" and an "exchange plaza." This space is planned planned to be completed in the 4th year of Reiwa.







兼久海浜公園 Kaneku seaside nark

ウォータースライダーや幼児用、児童用プールを備えたウォーターガーデンやテニスコート、ソフトボール場、総合運動場、体育館、多目的広場などを完備。子どもからお年寄りまで、町民が気軽にスポーツに親しみ、体力の向上と健康づくりに寄与しています。

Equipped with a waterslide and pool for infants and children, tennis courts, a softball field and athletic field, a gymnasium as well as a multipurpose plaza. A great place for townspeople of all ages to stay healthy through sports and contribute to improving their physical strendth and health.

新町通り

嘉手納ロータリーから伸びる新町通りは、町民に 古くから親しまれる商店街。様々なイベントのメイン会場でもあり、また近年は新しい店も続々オープンするなど、賑わいと活気に溢れています。

Shinmachi street extends from Kadena Rotary as a familiar local shopping district for the townspeople. It also hosts various events throughout the year, and in recent years has seen a resurgence in newly opened stores making the street even more lively.

屋良漏地の大蛇伝説



●むかしむかし、漏池(むるち)という池に暴 風雨を起こし、百姓を苦しめる大蛇が棲んで いました。



●祭壇の娘を大蛇が飲み込もうとした時、天から星が下りてきて4つに割れたかと思うと神様が出現して大蛇を打ち砕きました。



●占いにより大蛇を鎮めるには人身御供しかないということになり、犠牲となる者を募りその家族には手厚いお礼を用意しました。



⑤必死なお思いでかけつけてきた母親は、生き延びた大切な我が子を強く抱きしめます。



●すると、まずしい家の娘が、弟と相談した上で犠牲になることを決意し、それにより母親を養なおうとしました。



●娘の孝行に対して王府では、娘を王妃に、弟 を王女の婿として迎え、その後、幸せに暮らし ましたとさ。



ロータリープラザ The Rotary plaza

嘉手納ロータリー内にある6階建ての施設で図書館や公民館、子育て支援センターなどを有し、町民の福祉、教育、健康の向上、発展の拠点であり、憩いの場としても重要な役割を担っています。

A 6-story facility located in the center of the Kadena Rotary as its namesake. The plaza houses a library, a public hall, a child-rearing support center among others, and serves as a base for the welfare, education, health improvement, and development of the townspencie.

旧軍コミュニティセンター (仮称) Former military community center (tentative name)

特定地域特別振興事業を活用した施設で旧軍飛行場に土地を持っていた旧地主や町民の活動拠点。 中には民族資料室やシェアオフィスなどが入ります。令和3年度建設完了、令和4年度供用開始予定。

Planned facility to be completed as an activity base for former landowners and townspeople who owned land inside the old military airfield. It will house a local resource center and a shared frice inside, with construction planned for completion in the 3rd year of Reiwa, scheduled to start operation the following year.





200年の伝統を誇る「千原エイサー」を 次世代に引き継ぐ

干原エイサーは約200年前、嘉手納町の千原という地域で士族が旧盆の奉納舞踊として始めたのが起源です。戦後その場所は嘉手納飛行場になってしまいましたが、この伝統文化を残すために私の祖父らが中心となって保存会を結成し、今では町の無形民俗文化財に指定されています。私は祖父の影響もあり、幼い頃からエイサーをすることが習慣でしたので、周囲の大人から礼儀作法や地域の歴史を学ぶことができ、町への愛情を自然と抱くようになりました。このような世代を超えた交流を通して、干原エイサーの魅力、引いては町の魅力を子どもたちへつなぎ、広く伝えていきたいと思っています。

Bright people of Kadena 嘉手納で 輝くあの人

このコーナーでは嘉手納町内で、積極的にまちづくり や活性化に取り組むキーパーソン(人物)にスポット を当て紹介します。「賑わいのある空間を創出します。

In this corner we focus on the "people" of Kadena. Everyone introduced here take an active role in keeping Kadena town vibrant and a lively place to live.



職場が学校の隣ということもあり、子どもが小学校に通い始めた6年ほど前から、自主的に交通安全立哨を始めました。毎朝続けている甲斐あって子どもたちはもちろん保護者同士ともつながりができ、協力し合えるようになりました。今では登校時に元気がない子を励ましたり、挨拶したりと「おせっかいおばちゃん」と化しています。嘉手納町には昔から私のようなおばちゃんがたくさんいて、親密なご近所づきあいが現在も残っています。これからも交通安全立哨を通して、子どもの安否確認だけでなく、地域一丸となって大人が子どもたちを見守り、育てていけるような親しみのある「まちづくり」に貢献したいです。





テーマパークのような町を 広くPRしていきたい

生まれ育ったのは本土ですが、嘉手納町出身の母の実家に毎年遊びに行っていたので、嘉手納町は第二の故郷といえる場所でした。いつかは住みたいと思っていましたが、キャリアを積むには東京の方がいいだろうとしばらく飲食業に邁進したのち、先に両親が沖縄へ移住したこともあり私も移り住み、店を始めました。嘉手納町は狭い面積ながら公共機関や小売店、飲食店などがコンパクトに凝縮し、住むのはもちろん遊ぶにも便利な町だと感じます。これからは行政の方とも連携し、食事も遊びも楽しめるテーマパークのような嘉手納町を、県内外に積極的にPRしていきたいと考えています。

切がや人



海外イベントコーディネーターという前職の経験を活かし、県内で初のブレイキング専門ダンススタジオを立ち上げました。最近では、ダンスに加え、エンターテイナーを目指す子どもたちへ向けたグローバルな人材育成へと幅を広げる傍ら私自身も、町の商工会女性部でも活動させて頂いてます。2018年、女性部の先輩方に背中を押して頂き出場した意見主張発表会では、最高賞の県知事賞にも選出されました。これからも、地域の伝統や習慣を尊重しつつ、周りの方にも助けて頂きながら町の魅力を内外へ発信していきたいです。また、オリンピックやエンタメなど嘉手納町から世界へ羽ばたいていけるような人材を輩出したいです。



嘉手納町から世界へ! グローバルな人材育成





CARNE

オーナーの宮城さんは、東京のダイニングバーやレストランのキッチン・ホールスタッフを経験し、28歳の時に沖縄に戻りました。もともと飲食店の開業が夢だったため、北谷のクラブでさらに腕を磨き、出身地の嘉手納町でバルをオープン。スナックが集まる裏通りも含め「町内にかつての活気を取り戻したかったんです」と宮城さん。女性のひとり客や地元の常連さん、同業者も通う人気バルですが、地元をさらに盛り上げるため「今後は繋がりを生かして、食と音楽のイベントを開催していきたい」と話します。







嘉手納畳

若い世代の畳離れが進んでいることに 着目し、常識にとらわれない新しい発想 と感性、遊び心で新しい畳の形を次世代 に提案。代表の知花さんは、京都で修行を した後2016年に同店をオープン。「畳= 古臭いというイメージを変えたかった」 と話します。畳の表替えやクリーニング はもちろん、県産のビーグ(い草)で仕上 げた畳も扱い、刺繍命名畳やプリント命 名畳も大人気。嘉手納町のゆるキャラ「い もっち」をモチーフにした畳縁は、町の児 童館や町営住宅などに使われ、子どもた ちからも喜ばれています。



かがやく、「モノ」がたり

Bright things of Kadena

作り手の愛情から生まれる嘉手納町でかがやく「モノ」。こだわりの商品をお目当てに多くの方が町に訪れ賑わい、魅力はいつしか町の発展へと繋がっていきます。

Here we focus on the "things" from Kadena all made with a deep love and connection to the town. Many people come to the town for their favorite something. These charms eventually lead to the development of our town.



Charm

「この辺りは幼少期よく訪れていた場所なんです」と話すのは、店主の又吉さんです。一時はシャッター街になりつつありましたが「あの頃の活気を取り戻したい!」とお店をオープン。10種類並ぶマフィンは、焼き立てさっくり、翌日はしっとり。手作りの温かさを感じるマフィンを求めて、毎日多くの人たちが訪れます。地元の幼稚園や学校にも卸しているそうで「地元に貢献したい」という又吉さんの想いは叶いました。今後は、嘉手納町の食材を使ったマフィンにも挑戦したいと話します。





珈琲喫茶カメシマ

通勤・通学する人たちが行き交う通りに面する喫茶店。足を踏み入れると、店内は昭和レトロな雰囲気が広がっています。どこか懐かしくて落ち着く空間でいただけるのは、自家焙煎の珈琲やサンドイッチ、ナポリタン、手作りケーキなど。毎日通う常連さんや、憩いの場として利用する方も多く、温かく和やかな時間が流れています。オーナーの亀島さんは嘉手納町出身者。「地元のおじい、おばぁがふらっと立ち寄れる、街に馴染むお店を作りたかった」と話します。オープンは朝7時。様々なシーンで利用しやすい一軒です。



3Sバーガー

自家製バンズは町の特産の紅いもパウダーを使用。バーガーコンテストで数々の入賞歴もあり。

Homemade buns use the town's specialty: purple sweet potatoes. Their award winning burgers are a must try for all food lovers.



黒糖まん

黒糖の程よい甘さに、弾力のあるモチモチ食感がクセになるJA おきなわ喜手納支店の名物。

JA Okinawa Kadena branch's specialty snack. The subtle sweetness of brown sugar and chewy texture make it a delicious snack.



自家焙煎珈琲

スペシャルコーヒー専門店。小ロットづつの焙煎で、焙煎仕立て のコーヒーが味わえます。

A coffee shop that specializes in small quantity, home roasted and delicious fresh coffee



フィッシューバーガー

ニューオリンズの街並みを意識したオシャレで過ごしやすい店内 で頂く本格的なバーガー。

A full-fledged burger served in a stylish and comfortable atmosphere reminiscent of New Orleans Americana



嘉手納町が認定し、多くの方に「良いもの」感じてもらうことを推奨する「優良特産品」。 食べ物から商品まで嘉手納町の魅力を感じられる、かがやくモノばかりです。

From food to souvenir products, all of these items have been successfully certified by Kadena town as the town's "excellent specialty product."



ソープフラワーアート

一つひとつ手作りで優しいアロマの香りを楽しみながら長い間 飾れるフラワーソープーギフト。

These all-handmade flower soaps are the perfect gift with their lasting scent and heautifully crafted appearances.



干様のシュークリーム

たっぷりのカスタードにシュガーパウダーをまぶした王様の シュークリームは、お店のイチオシ商品。

Their delicious cream puffs hold a generous amount of custard sprinkled with sugar powder, a must-try if you have a sweet tooth.



とりの唐揚げ(プレーン味、バジル味、ゴマ味、こんぶ味、アーサ味、シソ味) ガーリックやピパーチなど定番からアーサや昆布などの変わり 種の唐揚げが数多く楽しめます。

You can enjoy a wide variety of flavored fried chicken such as garlic and Javanese long pepper, aasa seaweed and even kelp.



キーストンのかりゆしウェア

襟くずれしにくい素材と仕上げにこだわったオリジナルかりゆし ウェアはキーストンの人気商品。

Keystone's popular product is their originally designed Kariyushi shirts, made with a strong finish that doesn't easily break down.



セミハードシェルタコス

ほんのり甘さを持たせた生地の上に乗ったシャキシャキレタス。 絶品のタコスはサルサソースが決め手。

These tasty tacos will leave you satisfied with fresh cut lettuce on top of a slightly sweetened taco shell, and their amazing salsa sauce.



ちんすこう

王朝時代より受け継がれる良質な素材と食文化を守りながら新 しい商品を開発。沖縄の銘菓。

This traditional Okinawan confectionary has been passed down since the Ryukyu dynasty era, developing into a modern snack loved by all generations.

かがやく嘉手納町

嘉手納自慢の

ふるさとおとどけ品

Kadena's proud local specialties and products

地元の特産品から手作りのアート作品まで、嘉手納町で生まれた、お届け品はジャンルも種類も様々。 嘉手納町を身近に感じ、地域の魅力や素晴らしさを知って頂ける逸品をご紹介致します。

From local specialties to handmade art works, the town prides itself with various genres and types of souvenirs.

These gems let you feel close to Kadena town and feel the charm and splendor of the area.



あぐ一豚しゃぶしゃぶ3種の食べ比べセット 250g×3パック タレ付

出産数が少なく貴重なあぐ一豚は、沖縄を代表 するブランド豚。コレステロール値が低く脂身部 分の融点が低いので、脂身であっても口の中で サッと溶けてサッパリ食べられます。(山香)



あぐ一豚の柔らかな肉質、甘味、 旨味等を味わいながらお気に入 りの部位をお探しください。

アダン筆

「雨月物語」の作家で知られる江戸時代 の文人上田秋成も愛用していたことが伝 えられている「アダン筆」。南国沖縄で育っ た弾力性の高いアダンの繊維質は、時に は豪快で荒々しく、時にはやさしい夢のあ る豊かな書き味が魅力です。 (筆工房)



嘉手納自慢のふるさとおとどけ品には、食べ物や工芸品等以外にも体験型のおとどけ品をご用意しております。亜熱帯特有の植物や、トビハゼ等様々な動植物が生息する比謝川をカヤックで探検できるおとどけ品や、船で沖に出てスキューバダイビングやフィッシングが体験できるおとどけ品があります。



作り手の声

化粧水前の導入、化粧水後 の保湿、マッサージと色々 使える便利なオイルです。

リラクシングオイルセット他

お肌にハリとツヤを与えやわらかさを保つ「OKINAWAN ENERGIZE」と、水分油分を保ち、お肌をひきしめる「OKINAWAN BALANCE」のフェイシャル用美容オイルセット。化粧水前の導入、化粧水後の保湿と色々使える便利なオイルです。(FROMO)

作り手の声 口の中で広がる田芋独特 の風味と、もっちりとした 食感をお楽しみください。

嘉手納銘菓 田芋まんじゅう(15個)

創業46年、美味しいまんじゅうを追求して生まれた逸品。沖縄で 田芋は「子孫繁栄」を願う食べ物として祝い事に欠かせない縁起物 でもあり、贈答用としても人気です。(丸清堂)



てびち(豚足)の煮つけ 3個入り×4袋

てびち(豚足)は肉の部分が少なく軟骨が多いですが、軟骨は煮込むとゼラチン質に変わるのでぷるんと柔らかくなります。一人前ずつ真空パックにしているので調理もしやすいです。 (居酒屋 和)

作り手の声 一つ一つ手作りしていますので、かわいらしく表情豊かなシーサーです。

漆喰シーサー各種

自然災害から家を守るために設置されたといわれる漆喰の シーサー。幸運を招き入れるようにと口を開いたオスシーサー と、幸運を逃さぬように口を閉じたメスシーサーをセットで。 (えにし風)

作り手の声 町内唯一の自家製麺店と して、こだわりの麺の作り 立てを発送しています。

郷土の伝統の味沖縄そばセット

モチモチの自家製麺に羅臼昆布と枕崎鰹節を使い化学調味料 不使用の出汁。一晩寝かせて煮立てた三枚肉に隣村で作られた蒲 鉾など麺と出汁と具材の三位一体となった絶品そば。(みよ家)

グラスアートのティッシュケース

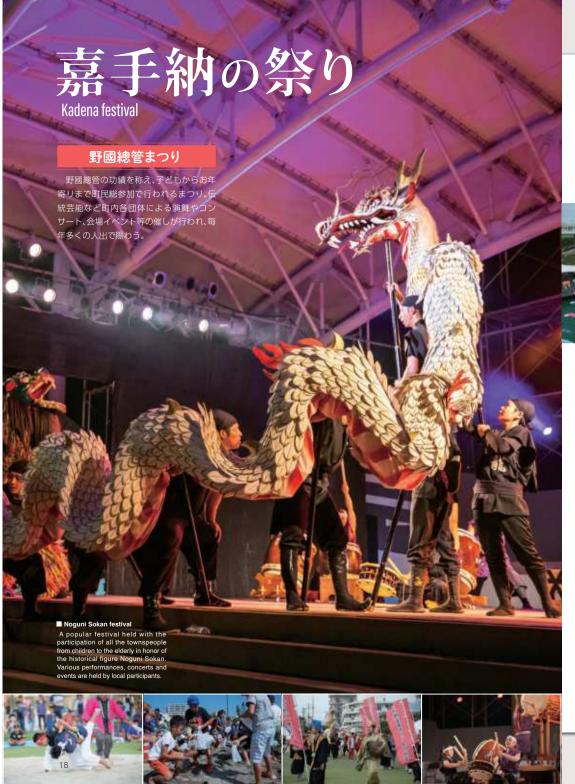
鉛のリード線とカラーフィルムを貼って、ステンドグラスの雰囲気を楽しむことができるグラスアート。普段使いのティッシュケースに彩りを添えて、食卓やリビングでお使い頂けます。(Ruhe)

作り手の声

すべて手作業で、 ひとつひとつ心 を込めて製作し ています。









エイサーまつり

沖縄の伝統芸能[エイサー]を一堂に集めて披 露。会場いっぱいに人々がつめかけ、地域の活性 化に寄与しています。

Okinawa's traditional performing art "Eisa" always draws a wide crowd. People show their support to the performers who contribute to the revitalization of their local district.



比謝川鯉のぼりフェスタ

GWに合わせて、子ども達の健やかな成長

を願うイベント。比謝川の上空を、およそ

200匹の鯉のぼりが悠々と泳ぎます。鯉のぼ

り掲揚式を始め、さまざまなイベントが行わ

An event that wishes for the healthy growth of children

annually during May's Golden Week. Approximately 200 carp streamers swim leisurely over the Hija river. Various events are held during the festival as well.



ハーリー大会

旧暦5月4日直後の日曜日に 行われる海人(うみんちゅ)の 伝統行事。町内企業や団体も多 く参加し、勇壮な爬竜船競争が 行われます。

■Dragon boat tournament

A traditional event of Uminchu, which is held on Sunday immediately after May 4th of the lunar calendar. Many companies and organizations in the town also participate for first place.





かでなGO!GO!フェスティバル



■ Hija river carp streamer festa

れます。

町民の音楽活動を応援し、音 楽で溢れる町になってほしい と町内外で活躍しているアー ティストが出演する音楽祭を 開催しています。

泡盛まつり



県内各所の酒造所が嘉手納 に集まり、様々な泡盛が飲み放 題。舞台でも開催される様々な イベントを楽しみながら泡盛 を味わえます。

産業まつり



農産物や加工品、お菓子など を一同に集め、展示即売会も行 われます。町外からも多くの人 が訪れる人気のイベントです。

ビアフェスタ



ビールが美味しい夏の夜、 ロータリー広場でカラオケや 音楽ライブが開催され、ビール を片手に盛り上がります。

嘉手納の文化財

Cultural heritages of Kadena

文化財は、我々の祖先の生活の知恵から生み出さ れ、歴史、学術、芸術、鑑賞上の価値の高いものです。町 内の文化財については調査研究を行い、保存保護及び 将来に継承していく体制を確立し、文化財に対する認 識と保護思想の普及によって、町民自ら地域文化財の 保存、保護継承していく気運を高めなければなりませ ん。本町では昭和51年「嘉手納町文化財保護条例」を 制定し文化財の調査、研究、保護に努めています。

Cultural assets are created from the wisdom of our ancestors and are of great historical, academic and artistic value. The town conducts research on its cultural heritages and properties, striving to establish a system to preserve and protect them for future generations. The town enacted the "Kadena town cultural properties protection ordinance" in 1976, leading to today's efforts to investigate, research, and protect cultural properties throughout its



■野国天川 Noguni amakawa



■屋良のあやぐ Avagu of Yara





※他に無形文化財として屋良のチンクがある。 * Another intangible cultural property not noted here is the Yara chinku.



嘉手納の名所

Famous places of Kadena

嘉手納町内にはムルチやメーガーなど数多くの文化財が点在します。文化財は、郷土に対する 興味を深めて文化の向上に繋げることを目的に大切に管理されています。

Many cultural properties such as Yara muruchi and Yara megar can be found here in Kadena. Cultural properties are carefully managed for the purpose of nurturing interest in our town's history and culture.



























E 天川の池の碑

■ 屋良ムルチ

Our people and their history

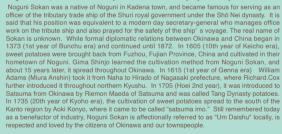


琉球産業の三大恩人

野國總管は、嘉手納町の野国の出 身で、尚寧王時代に首里王府の進貢 船(貿易船)の總管役を勤めた人で ある。總管という役職は進貢船の中 で事務を管理したり、航海の安全を 祈ったりする事務長のことだと言 われ、總管の本名はわかっていな い。沖縄と中国との正式な国交は 1373年(文中1年)に始まり、1872 年まで続いた。1605年(慶長10年) に中国福健省福州より甘藷を持ち かえり郷里の野国で栽培した。これ を伝え聞いた儀間真常が野國總管 より栽培法を習い、約15年後には

沖縄全島に普及した。1615年(元和 元年) にウィリアムアダムス (三浦 按針)によって、那覇から長崎の平 戸へ伝えられ、それをリチャード コックスが北九州一帯に広めた。 1705年(宝永2年)には薩摩の前田 利右衛門により沖縄から薩摩に伝 えられ、唐藷と呼ばれた。1735年 (享保20年)には青木昆陽によって 甘藷の栽培が関東以南に広がり、薩 摩藷と呼ばれるようになった。野國 總管は俗に「ウム大主」と呼ばれて 尊敬され、産業の恩人として県民や 町民から親しまれている。

Noguni Sokan, one of the three major benefactors of the Ryukyu industry



野國總管宮

蕃薯(甘藷)伝来350周年記念事業の一環として建立し た「野國總管宮」。神社には、食糧難で苦しんでいた琉球 の人々を救った恩人、野國總管が祀られている。

勝連城主 阿麻和利 Amawari

15世紀中葉の勝連城主。北谷間切屋 良の安次嶺家の娘と貴族の間に生ま れたという伝説がある。勝連城主茂知 附按司を攻め城主となり、国王尚泰久 の娘、百度踏揚を娶る。その後、中城城 主護佐丸を討ち、中山攻略を計画する が、夫人百度踏揚とその付人である大 城賢雄(鬼大城)に事前に知られ、大城 賢雄を大将とする中山軍に滅ぼされ たという。阿麻和利は逆臣としてのイ メージが強いが、伊波普猷や仲原善忠 の説によると、「沖縄最後の古英雄」 「領民の信望あつい豪快な人物」と評

Katsuren Castle Lord Amawari

Lord of Katsuren castle during the middle of the 15th century. Legend has it that he was born as a son of a nobleman and the daughter of the Ashimine family from Chatan Magiri Yara. After successfully seizing Katsuren castle under lord Aji Shigechi he wed the daughter of King Sho Taikyu, Momoto Fumiagari. Later defeats Gosamaru, the lord of Nakagusuku castle, and plans to capture Chuzan, but as his then wife Momoto Fumiagari realized the plans, she warned Ufugusuku Kenyu (Uni Ufugusuku) who in turn brought down the army and quelled his plan for rebellion. Amawari has a strong image as a rebel, but according academics and historians like Iha Fuyu and Nakahara Zenchū, he is appreciated as "the last old hero of Okinawa" and "a daring person much trusted by his people.



提供:うるま市

先人たちの息吹が聞こえる

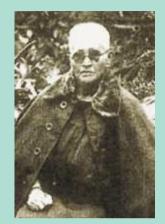
Listening to the stories of our ancestors

文武兼備の空手家 喜屋武 朝徳 Chotoku Kyan

喜屋武朝徳は、1870年(明治3年) 11月に首里儀保村で誕生した。父親 の朝扶は、尚泰侯爵の家扶(書記官)の 要職にあり、文武両道にたけた高潔な 人格者であった。朝徳12歳のころ父 にともなわれて上京し、16歳まで二 松学舎で漢学を学ぶ。小柄で体も弱 かったので父親から空手や角力を教

わる、20歳のときに帰省し、首里手の 松村宗棍、泊手の親泊興寛に師事し、 空手道の大家となる。38歳の頃から 比謝川付近に居を構え後進の指導に あたった。通称「チャンミーグァー」と 呼ばれ、体つきはやせて小柄であった が飛鳥のような早枝をもって世に知 られた空手家である。

Chotoku Kyan was born in Shuri Gibo-son in November 1870 (3rd year of Meiji). His father was the clerk of the then marquess Sho Tai, and was known as a noble person skilled in both literary and martial arts. At the age of 12, he moved to Tokyo with his father and studied Chinese studies at Nishogakusha until the age of 16. He was small and weak, so his father had trained him in karate and sumo from an early age. He returned home at the age of 20 and trained under Shurite Matsumura Sökon and Oyadomari Kokan, soon becoming a karate master himself. At around 38 years of age, he settled near the Hija river and taught karate to younger generations. He is commonly known as "Chanmee qua" and was a karate master known for his small stature but lightening fast moves



音楽野村流名人

Byukyu classical music

1897年3月4日に嘉手納町字水釜801番地に生まれる。 17才の時に勢理客宗徳氏より琉球古典音楽野村流の手解 きを受ける。その後瑞慶覧朝蒲、高安朝常、金武良仁、伊佐川 世瑞、宮城嗣長の各先生に師事。研鑽にはげみ、1963年に 沖縄タイムス社より芸術祭協力賞を授与され同年12月、野 村流音楽協会定期総会において名人賞を授与される。



Born on March 4, 1897 at 801 Mizugama, Kadena town. When he was 17, he received formal training on Ryukyu classical music Nomura style from Jichaku Munenori. After that, he studied under Zukeran Choho, Takayasu chojo, Kin Yoshihito, Isagawa Seizui, and Miyagi Shicho. In 1963, he was awarded the Arts Festival Cooperation Award by the Okinawa Times, and in December of the same year, he was awarded the master award at the Nomura School Music Association's Regular General Assembly.

1900年1月、奥間家の三男として嘉手納町水釜に生ま れる。7才の頃から三味線を手にし、21才で村芝居の地謡 をなす。その後、山田世恭、城間恒有らに師事。1955年野 村流古典音楽保存会創立に参加し、翌年、野村流師範を免 許皆伝。1958年に湛水流師範を免許され後継者となる。 1967年5月、享年68才で生涯を閉じる。



Born in Mizugama, Kadena Town in January 1900 as the third son of the Okuma family. He started playing the sanshin from age 7, and at the age of 21 he led the local village theatre. After that, he studied under Yamada Seiyasu and Shiroma Tsuneari. In 1955, he participated in the founding of the Nomura-style Classical Music Preservation Society, and the following year, he passed down his teachings as a licensed Nomura-style instructor. In 1958 he was successfully licensed as a Tansui master. He passed away at the age of 68 in May of 1967.



先史時代から王朝時代へ

From prehistoric times to dynasties

嘉手納町の歴史は古く、よく知られ ている野国貝塚群、嘉手納貝塚、嘉手 納貝塚東遺跡、屋良グスク、嘉手納グ スク、国直グスクなどの遺跡から、い にしえの時代の様子を知ることがで きます。

現在の嘉手納町域は古くから人々が住み着いていたと考えられ、多くの遺跡が比謝川河口から海岸線に沿って存在し、野国川河口の野国貝塚群は約7千年前から連綿と続く生活の跡で、

この付近が古くから豊かな自然環境を 持っていたことを物語っています。

当時の人々の漁撈・狩猟・採取により生活の糧を得ていたと思われますが、社会の進展により、やがて内陸部へ移動発展し集落をつくり、現在の町のもととなる集落を形成したと考えられます。中でも屋良、嘉手納、野国、野里の地域が早くから村として開けたところだといわれています。

13世紀頃には屋良グスクが築かれ

ました。そこを中心に集落が栄えたと考えられ、『おもろさうし』や『琉球国旧記』等の記述から当時の様子をうかがい知ることができます。また、本町では優れた偉人、英雄を輩出しています。1400年代に活躍し、琉球の風雲児として知られている勝連城主・阿麻和利は本町屋良の出身であるといわれ、1605年に中国から甘藷を持ち帰ったとされる野國總管も本町野国の出身です。

The history of Kadena town is old, and you can learn about the ancient times from well-known archaeological sites such as Noguni shell mounds, Kadena shell mounds, Kadena shell mound east ruins, Yara castle ruins, Kadena castle ruins and Kuninao castle ruins.

Historic records show that people have settled in the current Kadena town area since ancient time, and many archaeological sites exist along the coastline from the mouth of the Hija river and the Noguni shell mounds. Some of these sites show records of inhabitants living there from some 7,000 years ago. The ruins show that this area had a rich natural environment since ancient times.

It is believed that people at that time earned their livelihood by fishing, hunting, and harvesting, but due to social development, they eventually moved to inland areas to form villages that became the basis of todays town. The areas of Yara, Kadena, Noguni, and Nozato opened as villages from early on.

Yara castle was built around 13th century, while the nearby villages prospered. Such descriptions can be seen from texts such as "Omoro Soshi" and the first official chorography of the Ryukyu Kingdom "Ryūkyū-koku yurai-ki." In addition, the town was home to famous historic figures such as the Katsuren castle lord Amawari, who was active during the 1400s and Noguni Sokan, who is said to have brought back sweet potatoes from China in 1605, were both from Yara and Noguni of Kadena respectively.



■戦前の嘉手納大通り国頭街道沿いの嘉手納のマチグヮーの風景 Scenery of Kadena's Machiguwa along the Kunigami Highway on Kadena Boulevard before the war

ムラから字へ

From village to district

かつての嘉手納町は、王朝時代から北 谷間切に属する村々でしたが、明治時代 に入り、1908年(明治41)「沖縄県及び 島嶼町村制」により北谷間切は北谷村 へ、嘉手納の村々は、北谷村の字となり ました。

戦前までの嘉手納町は、字嘉手納を除

いて純農村でした。沖縄本島のほぼ中間 という地理的条件に恵まれていただけ でなく、沖縄八景に数えられた水量豊富 で風光明媚な比謝川には、県下各地から 家畜を積んだ気帆船が比謝川付近まで 出入し、中頭郡における家畜の一大集散 地としても栄え、人と自然産業の調和の とれたまちとして発展を遂げてきました。さらに、県立第二中学校、県立農林学校をはじめ県立青年師範学校、嘉手納警察署、沖縄製糖工場等が所在し、1922年には沖縄県営鉄道嘉手納線も開通し、中頭郡における経済、文化、教育の中心としての役割を果たしていました。

In the past, Kadena town was a village that belonged to Chatan Magiri from the dynasty era, but during the Meiji era, in 1908 (Meiji 41), Chatan Magiri became Chatan village due to the incorporation of the "Okinawa Prefecture and Island Town Village System." This made the numerous villages of Kadena under the jurisdiction of Chatan town.

Before the war, the towns of Kadena were all farm villages with the exception of Kadena. Not only is it blessed with the geographical condition of being almost in the middle of the main island of Okinawa, but also the scenic Hija river, sourced abundant water and counted as one of the eight scenic spots of Okinawa. The rich river brought in motorsailers carrying livestock from all over the prefecture. It prospered as a major livestock distribution center in Nakagami-gun, and has developed as a harmonious city of people and their natural industry. In addition, numerous educational institutions were built by the prefecture including the Prefectural Second Junior High School, Prefectural Agriculture and Forestry School, Prefectural Youth Normal School as well as the Kadena Police Station and Okinawa Sugar Factory. In 1922, the Okinawa Prefectural Railway Kadena Line was opened, further expanding the economy, culture and education in the district.



■県立農林学校 Prefectural Agriculture and Forestry School



■商店街 Shopping street



■製糖工場 Sugar factory



■栄橋 Sakae bridge

嘉手納の歴史

分村そして町制へ

From quasi-village to town system

第2次世界大戦時、本町は米軍の沖 縄本鳥最初の上陸地点となり、その集 中砲火はし烈を極めました。その砲撃 により住家をはじめ、一木一草に至る まで焼き尽くされ、1945年(昭和20) 8月15日の終戦を迎えるに至りまし

戦後は、1948年(昭和23)4月頃ま で嘉手納飛行場内の部分的通行が可 能でしたが、その後米軍の飛行機管理 が強化され、全面的に通行立ち入りが 禁止されたため、北谷村々域は完全に 2分されました。このため嘉手納地域 の住民は、役場へ用事を済ませるため に遠く謝苅(北谷)廻りかあるいは越 来村(現沖縄市)へ迂回しなければな らなくなり、交通の発達していなかっ た当時、日常生活をはじめ村行政運営 にも著しく支障をきたしました。その ため、1948年(昭和23)12月4日人口 約3.800人(嘉手納町人口年次表(町 民課)より)をもって北谷村より分村、 [嘉手納村]としての第一歩を踏みだ しました。

その後、朝鮮戦争の勃発等により米 軍は嘉手納飛行場を重要視し、逐年整 備拡張が行われ、そのつど、宅地や農 地は軍用地に姿を変え、狭小な住居地 域を一層せばめていきました。膨大な 而積を同飛行場地域に接収され、残さ れた僅かな地域に住民はひしめきあ う生活を強いられました。

また、住居地域が同飛行場に近接し ているため、爆音、飛行機墜落事故、燃 料流出、井戸汚染等枚挙にいとまがな い程の基地被害をこうむり、住民に大 きな影響を及ぼしてきました。

一方、戦後の混乱期 は、産業皆無の状況で あり、必然的に基地依 存の生活に頼らざる を得ず、そこに就業と 稼業の場を求めて人 口と各種事業所が急 増し、村の様相も次第 に都市的形態を備え るようになりました。 こうした都市的形 みちたまち・嘉手納」と定め、さらにそ の実現に向けて第一次基本計画を作 成、それに沿った計画的な行政運営を すすめ、都市基盤の整備、生活環境の

態に応じた新しい時代の新しい「まち

づくり | をめざし一層の発展向 | を図

るため、1976年(昭和51)1月1日を

期し、これまでの[嘉手納村]から[嘉

手納町1へ移行し、県下で7番目の町

としてスタート、1978年(昭和53)に

は、全町民の総意のもとに嘉手納町総

合計画基本構想を策定し、本町のめざ

す将来像として「安らぎと生き甲斐に

■分村15周年・甘藷伝来350年祭(昭和38年) 15th Anniversary of Village branch and 350th Anniversary of Sweet Potato importation (Showa 38)



■水釜海岸に上陸する米軍(昭和20年) US Army landing on Mizugama coast (1945)



■昭和22年頃のカデナロータリー一帯 Kadena Rotary area circa 1947

成果を上げてきました。

整備や教育、文化の向上等に多大な

1983年(昭和58年)には新庁舎と

町民会館(現在、かでな文化セン

ター)が完成、平成20年には沖縄米

軍基地所在市町村活性化特別事業、

通称[島田懇談会事業]により実施さ

れた、タウンセンター開発

事業、マルチメディア関連

企業誘致事業、総合再生事

現在は、今和元年度を初

年度とする第5次嘉手納町

総合計画で策定した[信頼]

「発展」「継承」の3つの理念

を基軸に置き、町民との協

業が完成しました。

■嘉手納小学校風景(昭和30年頃) Scenery of Kadena Elementary School (around 1955)

働を前提に、誰もが安全で安心して 暮らせる環境づくりを日指してまち の将来像「ひと、みらい輝く交流のま ち かでなしの実現に向けたまちづ くりを進めています。



■昭和54年頃のカデナロータリー―帯 Kadena Rotary area circa 1979

During World War II, our town became the first landing point of the US military on the main island of Okinawa and its extremely intense harrage. The hombardment hurned down houses and all vegetation, leading to the end of the war on August 15, 1945 (Showa 20).

After the war, partial passage was possible in Kadena Air Base until around April 1948 (Showa 23), but after that, access to the U.S. military base was completely prohibited, completely closing off Chatan village as a result and dividing it into two. For this reason, residents of the Kadena area had to make a detour to Jagaru (Chatan) or Goeku village (currently Okinawa city) in order to complete their errands at the government office. This significantly hindered the administration of the village, including parts of everyday life. On December 4, 1948 (Showa 23), with a population of about 3,800 residents, Kadena became its own branch village after separating from Chatan.

After that, due to the outbreak of the Korean War, the US military placed importance on Kadena Air Base, and maintenance and expansion were carried out year by year, Each time, residential land and agricultural land were requisitioned into military land, further narrowing the residential area. A huge area was requisitioned in the airfield and residents were forced to live in a crowded area in the small snace of land that was left

In addition, because the residential area was close to the airfield, it suffered numerous damages from the military base such as explosions, plane crashes, fuel spills, and well pollution, leaving a major impact on town residents.

During the postwar turmoil that gutted the local industry, people had to rely on the military base for everyday jobs. While the population and various business establishments rapidly increased in search of employment and business opportunities, the village gradually came to have an urban

In order to further develop and improve the town, on January 1st, 1976 "Kadena village" was changed to "Kadena town", the seventh of its kind in the prefecture. In 1978 (Showa 53), the basic concept of the Kadena Town Comprehensive Plan was formulated based on a local consensus. Defining the future image of the town as "Kadena, a town that is full of peace and ikigai." Furthermore, in order to realize it, we have created the first basic plan, promoted systematic administrative management in line with it, and have achieved great results in the improvement of urban infrastructure, the improvement of living environment, education and culture.

In 1983 (Showa 58), the new government building and town hall (currently Kadena Culture Center) was completed, and in 2008 under a Japanese government led special project to revitalize the municipalities where US military bases are located, (commonly known as the "Shimada Roundtable Project") more business, multimedia-related companies and comprehensive revitalization projects have been completed.

Currently, based on the three principles of "trust", " development" and "inheritance", we aim to create an environment where everyone can live safely and with a peace of mind in collaboration with all townspeople.

■昭和33年頃のおつみ通り Mutsumi-dori around 1958



■平成14年のカデナロータリー―帯 Kadena Rotary area circa 2002

KADENA HISTORY

年 度	主なできこと
7000年前	爪形文土器を出土する
	野国貝塚群B地点はこの頃の遺跡
3500年前	嘉手納貝塚はこの頃の遺跡
1250年	この頃、屋良ムルチの伝説あり
	屋良グスクからこの頃の
	グスク系土器出土
1458年	阿麻和利亡ぶ
1605年	野國總管が中国(福州)から
	甘藷を持ち帰る
1609年	薩摩藩が琉球を侵攻
1872年	琉球藩が設置される
1879年	琉球処分。沖縄県が設置される
1906年	屋良尋常小学校開校
1908年	沖縄県及び島嶼町村制施行
1912年	県立第二中学校、首里より嘉手納に移転
1916年	県立農林学校嘉手納に移転
1922年	沖縄県営鉄道嘉手納線開通
1944年	現嘉手納飛行場、旧日本陸軍が
	中飛行場として開設
1945年	米軍上陸、中飛行場占領
	ポツダム宣言受諾、終戦
1948年	嘉手納村として北谷村から分村
1954年	宮前小学校開校
1957年	行政区改革(字制廃止、十一の行政区へ)
1962年	米軍給油機民家に墜落
1966年	米軍空中給油機墜落
1967年	嘉手納空軍基地から航空燃料、
	洗剤流出により屋良地区の井戸汚染
1968年	B52戦略爆撃機住宅地域に墜落
1971年	水釜、兼久公有水面埋立竣工
1972年	祖国復帰、通貨切替。消防本部設置
1973年	村章制定
1976年	町制を施行。嘉手納町文化財保護条例を制定
1983年	町歌、町民音頭制定
	庁舎及び町民会館完成



町の活性化を図る。





Visual inspection of aircraft by the Town Base Countermeasures Council

米軍嘉手納基地 🌉



US Air Force Kadena Air Base

極東における最大の米空軍基地

嘉手納町は、町域の約82%が米軍基地に占有され、産業の振 興、都市建設の基盤の整備やまちづくりなどに大きな制約を 受け、また、F-15イーグル戦闘機等による訓練や大型機駐機場 から発せられるエンジン調整などの航空機騒音や悪臭などに より、町民は日常的に基地被害に悩まされております。

本町のまちづくりにおいて基地問題は最大の行政課題と なっており、基地から派生する様々な障害を排除し、町民の基 地負担の軽減を図るため、関係機関との連携を強化し、国等に 対し要請行動を粘り強く取り組んでまいります。

Largest US Air Force Base in the Far East

In Kadena town, about 82% of the town area is occupied by US military bases, leading to major restrictions on industrial promotion, urban construction, infrastructure development and town planning. Issues of noise from the F-15 Eagle fighters have led to many townspeople suffering and foul odors and toxics emitted from the aircraft facilities.

The base problem is the biggest administrative issue hindering the town development, and in order to eliminate various obstacles derived from the base and reduce the burden on our townspeople, we will strengthen cooperation with related organizations and governments. We will continue to work on the requested actions.







りつと、からい輝く交流のまちかでない 5つのまちづくり



交流のまち 実現に向け S み し か で な









嘉手納町では今和元年から第5次嘉手納町総合計画がスタートいたしました。

総合計画は嘉手納町の今後10年間の取組内容を定めた計画でありこの計画に基づき、まちづくりが行われ ることとなります。本計画では『ひと、みらい輝く交流のまち かでな』を将来像に掲げ、「信頼」、「発展」、「継承」 を基本理念とし、5つの分野別に基本目標を掲げ、町民協働によるまちづくりを進めてまいります。

The 5th Kadena Town Comprehensive Plan started in the first year of Reiwa.

The comprehensive plan is a plan that defines the contents of efforts for the next 10 years in Kadena, and town development will be carried out based on this plan. In this plan, "a humane future with shining exchanges" is set as the future image. "Trust", "Development", and "Succession" are the basic principles, and basic goals are set for each of the five fields for our townspeople to collaborate



生涯にわたり健康と夢・希望を育くむ 健やかなまちづくり

Healthy town development that nurtures health. dreams and hopes throughout life



地域の歴史・文化に誇りを持ち、 学び続ける魅力ある人づくり

Creating attractive people who are proud of the history and culture of the region and continue to learn



安全・安心で 住みよいまちづくり

Creating a safe, secure and comfortable city to live in



活力に満ちた賑わいのある まちづくり

Lively and vibrant town development



皆でとりくむ 協働のまちづくり

Collaborative community development for everyone to work on



5 つのまちづくり

「

5 pillars of town development

生涯にわたり健康と夢・ 希望を育くむ健やかなまちづくり

Healthy town development that nurtures health, dreams and hopes throughout life.



すべての町民が健康で生きる喜びを持ち続けられるまちへ

高齢化に伴う介護や多様な子育てニーズが必要とされる中、すべての人の人間としての尊厳と権利が守られ、健康でいきいきと活動でき、その人らしく輝きながら充実した生涯が送れるよう、生きる喜びと希望に満ちたまちづくりを推進します。それらを実現するために、町民の健康づくり活動や福祉の充実などを図り、子どもから高齢者まで、すべての町民が健康で暮らしやすい町になるよう、地域福祉や高齢者福祉、介護保険、障害福祉、健康長寿のまちづくりを充実・推進するとともに、母子保健、子育て環境の整備、社会保障制度の円滑な運用にも取り組みます。さらに地域包括ケアシステムの構築を推進し、支援や介護が必要となる場合でも、地域全体で支え合う共生社会の実現を目指します。





To a town where all the townspeople can continue to have the joy of living in good health.

Amid the need for long-term care and diverse child-rearing needs, everyone's dignity and rights as human beings are protected. Where healthy and lively activities can be carried out, and a fulfilling life can be lived. We will promote town development that is full of joy and hope for future living. In order to realize these, we will improve the health promotion activities and welfare of the townspeople, and make the town healthy and comfortable for all townspeople: from children to the elderly, welfare for the elderly, long-term care insurance and disability. In addition to enhancing and promoting welfare and healthy longevity, we will also work on improvement of child-rearing environment, and smooth operation of our social security system. Furthermore, we will promote the construction of a comprehensive community care system and aim to realize a symbiotic society that supports each other when support and long-term care are needed.

嘉手納町の主な取り組み





母子保健・子育て環境の充実

子育て環境のさらなる充実のために、妊娠期から出産後まで切れ目なく繋がる支援、母子保健に関する事業、母子保健の確立、待機児童解消、延長保育や一時保育、病児・病後児保育など多様な保育ニーズに応えられるサービスの整備、地域ぐるみで子育てを支援するネットワークや育児相談・助言、情報提供、居場所の拡充、低所得世帯やひとり親家庭などへの生活安定のための支援、児童の健全育成や児童虐待を防止する体制の拡充などを図ります。そして誰もが安心して子どもを産み育てやすく、時代を担う子ども供が笑顔で健やかに育つまちづくりに取り組みます。

Enhancement of maternal and child health

In order to further enhance our child-rearing environment, various types of childcare such as support for seamless connection from pregnancy to postpartum, employment related to maternal and child health is necessary. Furthermore, establishment of maternal and child health, elimination of waiting-list childcare, extended childcare and temporary childcare, childcare for sick and post-liness children are areas to not be forgotten. Development of services that meet needs, network to support childcare throughout the community, childcare consultation / advice, information provision, support for stable living for low-income households and single-parent families; all of these are areas to be developed. Finally, we will work to expand the system to prevent child abuse. We always work to create a town where everyone can easily give birth to a child and feel the healthy growth.

健康・長寿のまちづくり推進

妊娠期から高齢期まで、あらゆる世代の町民が健康に関する意識を高め、健康の大切さを実感し、健康づくりに取り組めるよう、地域、企業、行政、学校等が連携・協力し、健康づくりの表会の提供や情報発信などを通して、健康づくりを支援します。また、生活習慣病の発症予防と重症化予防のために、各種検診や保健指導を充実するとともに、がん検診等の受診勧奨の強化を図ります。そして健康づくりの基本となる食の大切さを啓発し、地域が一体となって食育に取り組めるよう推進体制を整えます。さらに、こころの健康づくりのための相談体制や感染症予防対策の充実にも取り組みます。



Opportunities for health promotion through cooperation between local communities, companies, governments, schools, etc. so that townspeople of all ages can raise their awareness towards health. In addition, in order to prevent the onset and aggravation of lifestyle-related diseases, we will enhance various screenings and health guidance, and strengthen the recommendation for consultation screenings. We will also raise awareness on the importance of food, and establish a promotion system so that the community can work together on food education. In addition, we will work to enhance the consultation system for mental health promotion and preventive measures against infectious diseases.







地域の歴史・文化に誇りを持ち、 学び続ける魅力ある人づくり

Creating and educating residents that hold pride in the region's culture and history



すべての世代が生涯を通して学び、生きがいを持てるように

学校教育の充実を図り、自分の可能性に挑戦する児童生徒の育成を目指します。また、地域が人を育て、人が地域をつくる好循環の実現のために、学校と地域の連携・協働体制の構築を推進します。そして町民が生涯を通して学べるとともに、時代の変化に柔軟に対応しながら国際的な視点で物事を捉え、自身で未来を開拓していく力を身に着けられるよう、学校教育施設の充実や、生涯学習の機会の創出活動を支援します。さらに、高齢者も若者もすべての町民が情操豊かで、生きがいを持つことができるよう、文化・芸術に触れる機会を創出しまっ。それらの実現のために、学校教育、人材育成・国内外交流、生涯学習、平和学習の推進や、地域の歴史と文化の保存・継承・活用、スポーツリクリエーション振興などの施策に取り組みます。





So that all generations can learn and have a life of ikigai

We aim to enhance school education and foster children who challenge their potential. In addition, we will promote the construction of a system of cooperation and collaboration between schools and the community in order to realize a virtuous cycle in which the community can raise and nurture its people. And so that the townspeople can learn throughout their lives, grasp things from an international perspective while flexibly responding to changes in the times, and acquire the ability to open up to the future. In addition, we will create opportunities for the elderly and young people to come into contact with culture and art. To realize all of these factors, school education, human resource development, domestic and international exchange, lifelong learning, promotion of peace learning, preservation and utilization of local history and culture is necessary.

嘉手納町の主な取り組み

学校教育の推進

変化の激しいこれからの社会を生きるため、幼児期から中学校までの各学校段階において体系的・系統的なキャリア教育を推進します。特に小・中学校においては、嘉手納型「小中一貫教育」に取り組み、児童生徒の「生きる力」を培います。また特別な支援を要する児童生徒の教育的ニーズを把握し、福祉関連部署との連携などを通して支援の充実を図ります。さらに児童生徒の豊かな成長のためにコミュニティ・スクールの導入を目指し、学校支援活動の充実に取り組みます。青少年の健全育成においても、諸関係機関との連携を通して学習支援活動や相談活動を行います。



We will promote systematic and systematic career education at each school stage from early childhood to junior high school in order to educate our youth to be able to adapt to a rapidly changing society. Especially in elementary and junior high schools, we will work on Kadena-type "elementary and junior high school integrated education" to cultivate their "purpose for life." In addition, we will grasp the educational needs of children and students who need special support, and enhance support through cooperation with welfare-related departments. Furthermore, we will work to enhance school support activities with the aim of introducing community schools for the prosperous growth of children and students. We also carry out learning support activities and consultation activities in collaboration with related organizations in the healthy development of young people.









生涯学習の推進

町民誰もが生涯にわたり、学習・発表することができる機会を得られる環境の充実に取り組みます。そのための施策として、生涯学習の機会となっている講座や公民館まつりをはじめとする生涯学習活動の支援を推進し、町民のニーズに応じた文化事業の拡充に努めます。また、町民が生涯学習に参加しやすい土壌を形成するため、社会教育団体やサークルへの支援を行い、幅広い機会や活躍の場の創出を目指します。さらに、各区のコミュニティーセンターや児童館を身近な生涯学習活動の場の拠点と位置づけ、活動ニーズに応じて利活用しやすい拠点づくりに努めます。

Promotion of lifelong learning

We will work to enhance the environment where all townspeople can have the opportunity to learn and be educated throughout their lives. As a measure for that, we will promote support for lifelong learning activities such as lectures and community center festivals and strive to expand cultural projects that meet their needs. In addition, we will support social education groups and circles, aiming to create a wide range of opportunities and places for activity. Furthermore, we will position the community centers and children's centers of each ward as bases for lifelong learning activities and strive to create bases that are easy to utilize according to activity needs.

5 つのまちづくり

3
5 pillars of town development

安全・安心で 住みよいまちづくり

Creating a safe, secure and comfortable city to live in



地球にやさしく、快適で安全に暮らせる住環境の整備

誰もが快適に生活でき、町民がいつまでも暮らしたいと思える住環境の整備を推進します。そのための取り組みとして、土地利用と住環境の充実、道路交通ネットワークの形成、上下水道の整備、公害防止等を進め、密集市街地の解消や公園をはじめとした生活基盤の整備、パリアフリー化の充実を図ります。また、地球環境にやさしく、あらゆる災害に強く安全・安心でありながら自然と都市が調和したまちづくりを目指します。その実現に向けて自然環境の保全を緑地の充実や防犯・交に、地域の防災力向上に取り組みます。さらに、ごみ減量化やリサイクルの推進等を進進するととも、環境への負荷を少なくし、環境衛生対策の強化や循環型社会の形成の実現を目指します。





Creating an environment that is kind to the earth, comfortable and safe to live in.

We will promote the development of a living environment where everyone can live comfortably for years to come. To that end, we will promote land use and living environment enhancement, road traffic network formation, water and sewage development, pollution prevention, etc., eliminate densely populated urban areas, improve living infrastructure such as parks, and enhance barrier-free access. In addition, we aim to create a city that is friendly to the global environment, resistant to all kinds of disasters and in harmorny with nature and the city.

We will work to improve the disaster prevention capabilities of the region while promoting the conservation of the natural environment, the enhancement of green spaces, the promotion of crime prevention, traffic safety and military base measures. Furthermore, we aim to reduce the burden on the environment, strengthen environmental hygiene measures, and create a recycling-oriented society by reducing the amount of waste and promoting reuse.

嘉手納町の主な取り組み

自然環境の保全と緑地の充実

嘉手納町に残された緑地の保全に努めながら、 自然生態系の維持、河川や海岸環境の保全・整備 を行います。その施策として、町民や来訪者に とって、自然とのふれあいの場となっている比謝 川や、風光明媚な海岸の水辺空間の整備に取り組 みます。その際、水辺の生態系の保全や景観、親水 性に十分配慮します。また、台風の影響により落 石や倒木が度々発生した比謝川遊歩道沿いにお いては、自然環境に配慮しながら急傾斜対策、落 石対策を推進します。町内にある公園などの憩い の場、遊びの場については、その確保や維持、充実 を図り、自然とともに生きるまちづくりを目指し ます。その実現のために、町民・事業者・行政それ ぞれが連携し、住宅地、企業用地、公共用地の都市 緑化を図ります。また、屋良城跡公園や嘉手納公 園、兼久海浜公園においては、歴史・文化、レクリ エーション、防災等、それぞれの公園の機能や保 全、利活用法に応じ、再整備やリニューアル事業 を推進します。さらに、美しい住環境と街並みの 創出に向けて、町民・企業・行政が連携して花木の 植栽や清掃等、美化活動に取り組み、自然との共 生意識の向上、その行動を促進する環境学習を推 進します。









Conservation of the natural environment and enhancement of greenery

While striving to conserve the green spaces left in Kadena town, we will maintain the natural ecosystem and conserve the river and coastal environment. We will work on the improvement of the Hija river, which is a place for townspeople and visitors to interact with nature and the waterside space on the scenic coast. At that time, we will give due consideration to the conservation of the waterside ecosystem, landscape, and hydrophilicity. In addition, along the Hija River promenade, where rockfalls and fallen trees frequently occur due to the effects of typhoons, we plan to install steep slope countermeasures and rockfall countermeasures. We aim to create a town that lives in harmony with nature by securing, maintaining, and enhancing the rest areas such as parks in the town. In order to achieve this, the townspeople, businesses, and government will work together to increase nature through the residential, corporate and public land.

In addition, at Yara Castle Ruins Park, Kadena Park, and Kaneku Seaside Park, we will promote redevelopment and renewal projects according to the functions, conservation, and utilization methods of each park, including aspects of history, culture, recreation, and disaster prevention. Furthermore, in order to create a beautiful living environment and cityscape, the townspeople, companies and the government will work together on beautification activities.



活力に満ちた賑わいのある まちづくり

Creating a vibrant and lively city



人、企業、地域が連携して各産業を持続的に発展させるまちに

農水産業、商工業の振興のために、人、企業、地 域が連携して持続的に発展する産業の構築を目 指します。その実現に向けて、農業においては有 望な品種の選定・普及や栽培法を確立し、安定的 な収穫・付加価値の向上に取り組みます。水産業 においては生産基盤の安定や組織体制の強化、 後継者の育成支援に取り組みます。商工業にお いては嘉手納ブランドの確立や各種支援を拡充 し、人や事業所が集い、活気に満ちたまちづくり を推進します。また観光業の振興に向けては、本 町の地域資源の活用やエンターテイメント性の あるイベントの実施に取り組みながら、情報発 信やプロモーション活動にも注力します。さら に情報通信環境を整備することで町民の情報リ テラシー向上を推進し、就業情報の情報提供、就 労支援の充実を図ります。





A town where people, companies, and regions work together to develop each industry sustainably

For the promotion of agriculture and fisheries, commerce and industry, we aim to build an industry that develops sustainably in collaboration with people, companies and all regions. To achieve this, we will select agriculture, establish cultivation methods and work on stable harvesting and improvement of added value. In the fishing industry, we will work to stabilize the production base, strengthen the organizational structure, and support the development of successors. In commerce and industry, we will establish a Kadena specific brand and expand various types of support, and promote vibrant town development where people and business establishments can collaborate. In addition, to promote the tourism industry, we will focus on information dissemination and promotion activities while working on the utilization of local resources. Furthermore, by improving the information and communication environment, we will promote the improvement of information literacy of the townspeople, provide employment information and lastly enhance employment support.

嘉手納町の主な取り組み





商工業の振興

持続可能で魅力的な商業を創出するために、嘉手納町商工会と連携し「かでな元気プロジェクト(販売促進活動や生産性向上のための取り組み)」を、より有効な施策を検証しながら取り組みます。また嘉手納ブランド確立に向けて、優良特産品の認定、販路開拓や商品力向上のための支援事業を推進します。さらに商店街の創出と活性化のために、地域活性化イベント等の開催支援によって事業者と町民の交流を促進します。そして商店街案内サインの設置等によって、店舗間の回遊性の向上を推進しながらSNSも活用し、積極的なPRに努めます。

Reconstruction of commerce and industry

In collaboration with the Kadena Town Chamber of Commerce, in order to create sustainable growth oriented commerce, we will work on the "Kadena Genki Project (sales promotion activities and efforts to improve productivity)." In addition, in order to establish the Kadena brand, we will promote projects for certification of excellent specialty products, development of sales channels and product marketing. Furthermore, we will promote exchanges between businesses and townspeople by supporting the holding of regional revitalization events. We will also utilize SNS and online marketing promoting the improvement of active PT.

観光業の振興

本町の観光資源である「野國總管」等の先人たちの歴史や文化、比謝川周辺の風光明媚な場所、「道の駅かでな」等の充実を図りながら、新たな観光魅力創出に向けて、二ズに即した観光プログラムの開発、提供を推進します。また、自然や地域の伝統を体験できるプログラムを拡充し、地域の誇りとして発信します。さらに観光受入の強化のために、マーケティングデータの効果的な活用や、本町の知名度向上、新たな顧客獲得のための戦略的なPRを目指します。教育旅行、インパウンド旅行客をターゲットとして、受け入れ強化を推進します。

Reconstruction of tourism

Creating new tourism attractions while enhancing the history and culture of ancestors such as "Noguni Sokan", scenic places around the Hija river, and "roadside station kadena," we will promote the development and provision of tourism programs that allow you to experience nature and local traditions. Furthermore, we aim to effectively utilize marketing data, improve the towns visibility and strategically promote customer acquisition. We will promote educational trips and inbound tourists as well.







皆でとりくむ 協働のまちづくり

Collaborative community development for everyone



あらゆる人が参加、活躍できる地域を目指して

町民と行政などが協働し、ともに住民自治の向上を図りながらのまちづくりを推進します。そのために町民が参加できる仕組みの構築、拡充に取り組みます。また、男女が社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会活動に参画し、活躍できる街を目指します。合わせて、あらゆる人の人権が尊重されるような地域社会の形成を推進します。さらに時代のニーズをとらえながら、限られた財源の有効活用のためにも、迅速かつ効率的、健全な行政運営に取り組みます。また昨今の行政サービスの多様化に伴い、国や県、周辺市町村との広域的な連携を強化し、戦員の資質向上など行政力の強化を図ります。そして地域のふれあいや絆を深めるために、自治会等の活動支店や連携強化を図り、コミュニティ活動の充実を目指します。





Aiming for an collaborative community development by all people

The townspeople and the government will work together to promote town development while improving the autonomy of the residents. In addition, we aim to be a city where men and women can participate in social activities and play an active role as equal members of society. At the same time, we will promote the formation of a community where the human rights of all people are respected. Furthermore, while grasping the needs of the times an efficient and effective trillization of limited financial resources is necessary.

In addition, with the recent diversification of administrative services, we will strengthen cooperation with the national, prefectural, and surrounding municipalities, and strengthen administrative capabilities such as improving staff competence. And in order to deepen ties with the community, we aim to enhance cooperation with branches such as residents' associations.

嘉手納町の主な取り組み





地域コミュニティ活動の充実

地域生活における課題の解決や多様化する住民ニーズ、 さらに地方分権化に対応するためには、町民同士の共助に よる地域コミュニティの形成が不可欠です。また、協働に よるまちづくりを推進するうえで、地域で活動する様々な 団体・組織の役割の重要性が高まっています。そのために 本町では、コミュニティの基礎となる自治会への、補助金 助成や自治会活動参加促進等の支援や育成をはじめ、地域 のまちづくり活動を行うNPOやボランティア団体、市民団 体等の各種団体との連携を図ります。そして、世代を超え た交流や転入者との交流等、住民間の多様な交流や連帯感 を深めるようなコミュニティ活動を支援しながら、その活 動のために必要となる備品などの整備を推進し、地域活動 の充実の強化や、町民の地域活動への参加促進を図りま す。また、地域活動の拠点となる施設の充実も重要です。地 域の特性を生かした、身近な場所での活動が活発に行われ るために、西浜区コミュニティーセンターの建て替えを もって老朽化していた全てのコミュニティーセンターの 建て替えが完了しました。その他の施設についても建て替 え、補強等を着実に実行し、町役場やコミュニティーセン ターをはじめとする地域活動の拠点施設の確保・充実に努





Enhancement of local community activities

In order to solve problems in local communities, respond to diversifying residents' needs, it is indispensable to have a local community with mutual assistance between townspeople. In addition, the role of various organizations that are active in the region is increasing in the promotion of community development through collaboration. To that end, in Honmachi, we support and nurture subsidies and promote participation in community development activities, as well as with various organizations such as NPOs, volunteer groups, and citizen groups. We will cooperate with each other. And while supporting community activities that deepen a sense of solidarity and diverse exchanges among residents, will promote the maintenance of equipment necessary for such activities. Will strengthen the enhancement of local activities and promote the participation of townspeople in local activities. It is also important to enhance the facilities that serve as bases for local activities. With the rebuilding of the Nishihamaku Community Center, the aging community centers completed in order to actively carry out activities in familiar places. We will steadily rebuild and reinforce facilities, and strive to secure and enhance facilities for local activities.

Administration

町民に身近で開かれた 行政をめざして。

AIMING FOR AN ADMINISTRATION THAT IS OPEN TO THE TOWNSPEOPLE

地方分権時代を迎えた現在、少子高齢 化、教育・福祉・環境問題など、地方自治体 を取り巻く環境は依然として多様化して いく傾向にあります。

これらの時代にふさわしい自立した行 政運営を行い、個性的な魅力あるまちづ くりを推進していくために、行政と町民 が責任と役割を分担しながら、行政サー ビスを図り、より町民に身近で開かれた 行政をめざしていきます。



町長 Mayor 常山宏 Hiroshi Touvama



副町長 Deputy Mayor 比嘉 孝史 Takashi Higa



教育長 Superintendent of the Board of Education 比嘉 秀勝 Hidekatsu Higa





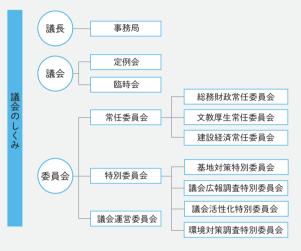
Now that we have entered the era of decentralization, the environment surrounding local governments is diversifying. The declining birthrate and aging population, education, welfare, and environmental issues are a few factors to be highlighted.

In order to carry out independent administrative management suitable for these times and promote unique and attractive town development, the government and the townspeople share responsibilities and roles and provide administrative services to be more familiar to the townspeople.



私達が町民の声を 町政へ反映させます。

WE REFLECT THE VOICES OF THE TOWNSPEOPLE IN OUR ADMINISTRATION.



町議会は、町民代表である16人の議員 によって構成され、年4回(3月、6月、9 月、12月)の定例会と必要に応じて開か れる臨時会があります。

また議会内部機関として、総務財政、建 設経済、文教厚生の各常任委員会と基地 対策等の特別委員会などが設けられ、町 民の声を反映させるとともに、重要施策 を審議決定していく町の意思決定機関と して重要な役割を担っています。

The town council is made up of 16 members representing the townspeople, and has regular meetings (March, June, September, December) four times a year and extraordinary sessions held as needed

In addition, as internal organizations of the parliament, standing committees for general affairs finance, construction and economy, education and welfare, and special committees for base measures are set up to reflect the voices of the townspeople and deliberate on important measures. We are the town's decision-making body.



議長 Chair 仲村渠 兼栄



副議長 Vice-chairman 石嶺 邦雄 Kunio Ishimine





45

嘉手納町の概要

Overview of Kadena town

令和2年1月1日~令和2年12月31日



世帯人数

1世帯平均 2.4人 世帯数 5,654 世帯 人口 13,406 人



人口密度

1 km あたり 886.6人 面積 15.12 km



転 入

1日に1.4人 511人



転 出

1日に1.7人 612人



出 生 2.8日に1人



死 亡 2.5日に1人



結 婚 5.8日に1組



離婚

9.1日に1組



医自

12人 (平成28年12月31日現在)



65 歳以上人口率

24.1%



公園面積 26.62ha



水道(家庭用)

1日1人あたり 227.4 Q



下水道普及率

100.0%



ごみ収集量

1日1人あたり 787.0g



町職員

176人 (令和2年4月1日現在) 町民76.2人に1人



町の予算 (一般会計)

1人あたり 748,585円

住民基本台帳 年龄階級別人口

Basic Resident Register Population by age group



財 政

農林水産業費

0.3%

その他

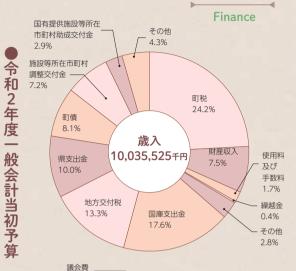
1.8%

民生費

31.9%

総務費

15.7%



令和2年度一般会計 歳入

	111112十尺 双五山 城八				
	項目	金額(千円)			
自主財源	町税	2,426,748			
	財産収入	754,437			
	使用料及び手数料	169,276			
	繰越金	40,000			
	その他	284,612			
依存財源	国庫支出金	1,761,413			
	地方交付税	1,339,660			
	県支出金	1,006,543			
	町債	813,067			
	施設等所在市町村 調整交付金	722,477			
	国有提供施設等 所在市町村助成交付金	292,219			
	その他	425,073			
	合計	10,035,525			

令和2年度一般会計 歳出

11 版山		
金額(千円)		
3,204,488		
1,574,303		
1,572,662		
1,187,962		
951,222		
572,327		
337,063		
294,693		
129,849		
34,943		
176,013		
10,035,525		

●令和元年~平成 29 年度一般会計及び特別会計決算

教育費

15.7%

歳出

10,035,525千円

1.3%

衛生費

5.7%

土木費 9.5%

商工費

11.8%

消防費

2.9%

公債費

3.4%

(単位:千円)

	令和元年(平成31年)度		平成30年度		平成29年度	
	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計 国民健康保険特別会計 後期高齢者特別会計 下水道事業特別会計 水道事業会計	11,226,117 1,988,389 261,117 313,625 469,005	10,783,905 1,917,563 260,037 284,939 460,894	9,194,311 2,048,226 254,683 427,575 350,256	8,278,354 1,981,764 253,103 283,134 551,107	9,908,526 2,612,000 247,019 341,021 346,189	9,669,380 2,420,678 245,504 283,134 344,084

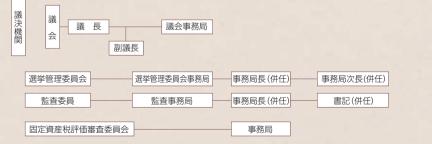
行政機構図

Administrative structure

令和3年4月1日現在予定







町内施設一覧

List of facilities

行政施設等		コミュニティーセンター			
嘉手納町役場	956-1111(代)	東区コミュニティーセンター	956-3179		
かでな文化センター	956-1112	中央区コミュニティーセンター	956-6223		
嘉手納町中央公民館	956-4142	北区コミュニティーセンター	956-3928		
嘉手納町民俗資料室	956-2213	南区コミュニティーセンター	956-4688		
嘉手納町立嘉手納外語塾	956-1616	西区コミュニティーセンター	956-4544		
嘉手納町立図書館	957-2470	西浜区コミュニティーセンター	956-4541		
基地被害苦情110番	0800-200-4665				
福祉・子育て施設等	F	官公署等			
嘉手納町総合福祉センター	956-1177	ニライ消防本部嘉手納消防署	956-1115		
嘉手納町社会福祉協議会	930-1177	嘉手納警察署	956-0110		
嘉手納町健康増進センター	956-1230	嘉手納郵便局	956-3909		
嘉手納町地域包括支援センター	956-0849	沖縄防衛局	921-8131		
嘉手納町子育て支援センター	956-2361	福岡入国管理局那覇支局嘉手納出張所	957-5252		
(ひまわり支援・たいよう学童)	950-2501	独立法人 駐留軍等労働者	921-5531		
嘉手納町第二保育所	956-1219	労務管理機構沖縄支部 	921-3331		
嘉手納町第三保育所	956-3323	一般財団法人防衛施設協会 沖縄支所	956-0750		
嘉手納地区学習等供用施設·児童館	957-3274				
屋良地区体育館·図書室	957-2798				
学校等		産業施設等			
嘉手納町立嘉手納幼稚園	956-4039	道の駅かでな	957-5678		
嘉手納町立屋良幼稚園	956-4140	比謝川行政事業組合環境美化センター	982-8221		
嘉手納町立嘉手納小学校	956-2264	嘉手納町マルチメディアセンター	956-1140		
嘉手納町立屋良小学校	956-2214	嘉手納町商工会	956-2810		
嘉手納町立嘉手納中学校	956-2263	農業協同組合嘉手納支店	956-1133		
沖縄県立嘉手納高等学校	956-3336	嘉手納町漁業組合	956-6222		
嘉手納町青少年センター	957-1717				
嘉手納町立学校給食共同調理場	956-3106				
体育施設等					
嘉手納町陸上競技場	956-8251				
嘉手納町スポーツドーム	956-1152				
嘉手納町兼久体育館	956-5346				
嘉手納町町民の家	956-6293				
嘉主納町町民の家	956-6293				

嘉手納町歌

- 1 朝のひかりも さわやかに みどり輝く 屋良城址 心ふれ合う 町がある 笑顔のこぼれる 人がいる そうさ われらの自慢の町さ 築こう築こう 我がふるさとの嘉手納町
- 2 水の流れの たゆみなく 恵みあふれる 比射川よ 平和たたえる 町がある 幸せ育む 人がいる そうさ われらの住み良い町さ 歌おう歌おう 我がふるさとの嘉手納町
- 3 教え尊し 総管の 功しのべば わく夢よ 文化ほほえむ 町がある 自然を愛する 人がいる そうさ われらの理想の町さ 拓こう拓こう 我がふるさとの嘉手納町



作詞 坂口 洋隆 作曲 普久原 恒勇 編曲 屋富祖 寛治

町歌 QRコードを読み取ると 町歌が開けます

嘉 手 納 町 欧







ハイビスカス 昭和57年8月5日制定 ク

7年8月5日制定 **クロキ** (リュウキュウコクタン)

昭和57年8月5日制定

嘉手納町のあゆみ

History of Kadena Town



田田田 とこち・北京の日本プ

町制施行嘉手納まつり 昭和51年(1976年)



②町営住宅屋良団地完成 昭和51年(1976年)



②吉浜朝永町長誕生 昭和54年(1979年)

昭和51年(1976年)

- 1.1 町制を施行
- 1.5 駐車場引き渡し
- 1.8 町制施行記念ゴルフ大会(ロイヤルGC)
- 1.10~11 町制施行かでなまつり0
 - 2.2 嘉手納空軍基地内から屋良小学校東側溝へ 油流出、比謝川へ流れ込む(8回目)
- 2.28 下水道ポンプ場完成
- 4.7~8 町行政診断
- 5.19 B52台風避難を理由に13機飛来(7回目)
- 5.22 国場組アスファルト工場側溝へ油流出 (9回目)
- 7.13 B52台風避難を理由に12機飛来(8回目)
- 7.20 町の文化財を指定(民俗芸能6、天然記念物2) 8. 町営住宅屋良団地完成(1種、3DK、48戸) ②
- 8. 町宮任宅屋艮団地完成(1種、3DK、48户) €
- 8.22 町長選挙(古謝得善氏無投票当選)(8代目) 9.8~9 台風19号来襲(水釜、兼久埋立地先護岸
- 11.30 久得の軍用地(平山原、新川原)返還される (160.040㎡)
- 12.13 環境美化センター建設工事着工

500m全決排)

昭和52年(1977年)

- 1.16 町議会議員選挙(第8期)
- 1.22 嘉手納小学校水泳プール完成
- 3.20 嘉手納小・中学校グラウンドナイター照明
- 7.27 嘉手納空軍基地内から東区公民館側溝へ油 流出(10回目)
- 7.30 台風17号による決壊護岸の復旧工事完成
- 11.6 第2回町芸能文化祭
- 11.7 B52台風避難を理由に13機飛来(9回目)
- 11.28 嘉手納小学校創立20周年記念式典
- 12.29 B52台風避難を理由に12機飛来(10回目)

昭和53年(1978年)

- 2.28 南区公民館完成
- 3.10 嘉手納中学校渡り廊下、特別教室完成
- 3.31 水釜児童公園完成
- 5.21 町商工会青年部結成
- 7.20 嘉手納町役場屋上に自動演算騒音機を設置 して航空機騒音の常時測定を開始
- 7.30 730交通方法変更
- 8.22 屋良土地区画整理事業決定 (県知事・建設大臣認可)
- 10.22 B52台風避難を理由に14機飛来(11回目)
- 11.26 嘉手納中学校創立30周年記念式典
- 12.28 「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき嘉手納町やら地域の一部 (第二種区域)、その他の町域(第一種区域) が区域指定される。

昭和54年(1979年)

- 1.9 B52台風避難を理由に14機飛来(12回目)
- 1.17 古謝徳善町長退職(県出納長に就任)
- 1.31 町立総合運動場完成
- 2.18 町長選挙(吉浜朝永氏初当選)(第9代)€

3.11 B52機器のトラブルを理由に1機飛来 (13回目)

- 3.20 環境美化センター完成 第三保育所完成 西浜区公民館完成
- 3.31 比謝川沿い遊歩道完成 (中央公民館〜屋良城址公園) 嘉手納町総合計画策定
- 4.1 西浜区新設(旧西区を西区・西浜区に分割)
- 4.7 広報無線放送開始
- 5.15 屋良城址公園完成
- 9.29 F15イーグル戦闘機嘉手納基地配備
- 10.9 B52台風避難を理由に14機飛来(14回目)
- 11.9 嘉手納町社会福祉協議会社会福祉法人認可
- 11.10~11 かでなまつり(4)
 - 12.5 B52台風避難を理由に3機飛来(15回目)

昭和55年(1980年)

- 1.14 民俗資料室・トレーニング室オープン
- 2.27 兼久・水釜間の排水溝へ油流出(11回目)
- 3.3 嘉手納町献血推進協議会結成
- 3.4 F4ファントムの補助燃料タンク滑走路に落 下炎上
- 3.29 嘉手納中学校プール完成
- 3.31 嘉手納町中央駐車場完成(駐車台数174台) 嘉手納飛行地域認証なる
- 4.9 B52機器のトラブルを理由に1機飛来 (15回目)
- 5.23 E3Aセントリー空中早期警戒管制機嘉手納 基地配備
- 7.24 F15イーグル片足着陸事故
- 8.30~31 かでなまつり
 - 9.25 衆議院環境委員沖縄調査団基地問題調査に 来町
- 10.6 B52台風避難を理由に2機飛来(17回目)
- 10.30 B52台風避難を理由に18機飛来(18回目)
- 11.22 B52台風避難を理由に13機飛来(19回目)

昭和56年(1981年)

- 1.18 町議会議員選挙(第9期)
- 1.26 野国貝塚から土器出土6
- 1.28 行政センター造成工事着工
- 2.28 嘉手納小学校体育館落成
- 水釜パイプライン返還される(10,066.94㎡)
- 3.3 町づくり町民討論集会
- 3.15 兼久・水釜間の排水溝へ油流出(12回目) 4.25 第1回嘉手納町交通安全町民大会
- 6.11 社会福祉協議会昼食サービス開始
- 7.18 「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関す る法律」に基づき嘉手納町字久得の一部が 第一種区域に追加指定される
- 8.29 かでなまつり
- 10.6 庁舎及び町民会館起工式
- 11.24 心豊かなふるさとづくり推進協議会結成
- 12.12 B52台風避難を理由に13機飛来(20回目)
- 12.14 防衛庁より米軍ヘサイレンサー渡し
- 12.21 住宅防音家屋空調施設維持管理費補助金交 付(被保護世帯89世帯、生活困窮世帯48世 帯、計137世帯3,000万円交付)

昭和57年(1982年)

- 2.25 いこいの広場完成
- 2.28 嘉手納飛行場軍用地一部返還(588.92㎡)
- 3.15 第2保育所完成
- 3.29 嘉手納町水釜雲園完成
- 4.20 B52機体故障を理由に1機飛来(21回目) いこいの広場に専用ゲートボール場オープン
- 5.31 嘉手納飛行場軍用地一部返還(440.10㎡) 7.27 B52台風避難を理由に14機飛来(22回目)
- 7.27 B52合風避難を理由に14機飛来(22回日) 8.5 町花(ハイビスカス)・町木(クロキ(リュウ キュウコクタン))制定
- 8.28~29 かでなまつり
- 11.12 屋良栄光幼稚園東側排水溝へジェット燃料 流出(13回目)
- 11.15 屋良小学校東側排水溝へディーゼル流出
- 11.17 久得地内農地浩成丁事着丁
- 12.12 第1回嘉手納町社会福祉大会
- 12.13~17 中央公民館内議場において最後の定例議会

昭和58年(1983年)

- 1.23 町長選挙(吉浜朝永氏2期目無投票当選) (第10代)
- 2.1 町歌・町民音頭制定
- 2.28 庁舎及7年1日会館完成
- 3.1 新庁舎へ移転開始(6)
- 3.8 嘉手納町史(資料編 I·新聞資料)発刊
- 3.15 B52機体故障を理由に1機飛来(23回目)
- 3.30 久得雲園完成
- 3.31 久得地内農地造成完成、水釜第二団地完成
- 4.1 機構改革 管理課(新設) 建設経済課(企画経済課より経済部門が編入)
- 4.23 町民会館こけら落とし
- 5.9 町商丁会婦人部結成
- 6.12 ミニ授産施設「あしびなあ」オープン
- 6.12 ミニ授産施設 あしひなあ」オーフン7.1 機構改革の一環として係長制度導入
- 7.5 久得橋取り壊し
- 8.3 古謝得善副知事就任祝賀会
- 8.12 分村35周年·庁舎町民会館落成記念式典
- 8.27~28 かでなまつり
- 9.12 第42回沖縄国体嘉手納町準備委員会設立総会
- 10.11 「いこいの広場」を「町民の家」に名称変更
- 11.24 久得集荷場完成

昭和59年(1984年)

- 1.22 東区自治会事務所西側排水溝へ油流出
- (15回目) 3.13 新町商店街協同組合設立総会
- 3.13 新町商店街協问組合 4.10 嘉手納高等学校開校
- 5.18 ソフトボール場開き
- 6.3 海神祭(ハーリー)日本ボーイスカウト嘉手納第1団発団
- 6.24 嘉手納町農業協同組合創立20周年記念式典 8.4 第4回全日本学童軟式野球大会で北区ライ
- オンズ準優勝 9.3 久得霊園一般公募開始
- 10.9 嘉手納老人クラブ連合会創立20周年式典
- 10.24 B52台風避難を理由に10機飛来(24回目)
- 10.25 「町国体準備委員会」を「町国体実行委員会」 に名称変更
- 10.31 農民研修センター完成
- 11.12 B52台風避難を理由に9機飛来(25回目)

昭和60年(1985年)

- 1.13 町議会議員選挙(第10期)
- 3.7 嘉手納町健康づくり推進協議会結成
- 3.25 嘉手納児童公園完成
- 兼久海浜公園「水の広場」・「自由の広場」完成 6.21 屋良小学校オープンスペース校舎改築起工式ジ
- 71 機構改革 国休理(新設)
- 8.24~25 かでなまつり(みこし登場)
- 9.24 永六輔特別議演会
- 11.25 夏壬納三校が1年生野球十会不優勝

昭和61年(1986年)

- 1.26 町制10周年記念式典
- 3.11 第42回国民体育大会·解放国体専門委員委 嘱状交付
- 4.1 嘉手納野球場・テニス場供用開始
- 6.28 屋良小学校創立80周年記念式典
- 7.26~28 第7回全日本クラブ女子ソフトボール大会 (国体リハーサル大会)
- 9.25 嘉手納勤労者体育センター起工式 10.3 B52台風避難を理由に10機飛来(26回目)
- 10.8 嘉手納商工業研修等施設(商工会館)起工式 11.19 屋良小学校東側排水溝へ大量のディーゼル
- 流出 11.26 第42回国民休育大会・海邦国休旋引き継ぎ
- 12.1 B52台風游難を理由に12機飛来(27回目)

昭和62年(1987年)

- 1.25 町長選挙(吉浜朝永氏3期当選)(第11代)
- 町議会議員補欠選挙
- 3.31 非核平和町宣言 4.28 喜手納商丁業研修等施設完成落成式典
- 5.8 嘉手納勤労者体育センター完成落成式典
- 5.18 屋良小学校東側排水溝へ廃油流出

ボール競技大会

- 5.25 嘉手納中学校柔剣道場完成 7.17 第42回国民体育大会・海邦国体百日前パ
- レード
- 7.25 B52台風避難を理由に11機飛来(28回目)
- 8.8~9 かでなまつり 10.21 第42回国民体育大会・海邦国体炬火リレー 10.26~29 第42回国民体育大会・海邦成年女子ソフト

- 昭和63年(1988年)
- 1.8 嘉手納町総合福祉センター起工式 1.11 B52台風避難を理由に12機飛来(29回目)
- 3.26~28 第6回全国高等学校男子ソフトボール大会 全国制覇
- 7.31 第1回YOU・遊・比謝川フェスティバル8.30 比謝川へ油流出(19回目) 県企業局の比謝川取水場は7時間も取水停
- 止を行う。
- 11.2 屋良地区体育館・図書室着工11.4 嘉手納町葬祭場着工
- 嘉手納中学校渡り廊下着工 11.27 第1回子供芸術祭

昭和64年 平成元年(1989年)

1.15 町議会議員選挙(第11期) 3.11 喜手納中学校創立40周年記念式典

昭和54年(1979年)

野国貝塚発掘調査 昭和56年(1981年)



⑥新庁舎での窓口業務 昭和58年(1983年)



②屋良小学校オープンスペース 昭和60年(1085年)



③第1回世界のウチナーンチュ大会 町出身者歓迎会 平成2年(1990年)



②宮城篤実町長誕生 平成3年(1991年)

3.24 嘉手納町総合福祉センター完成落成式

- 5.2 屋息地区体育館・図書室完成落成式
- 5.12 嘉手納町葬斎場完成落成式
- 9.5 久得配水池築造工事安全祈願祭 10.2 B52台風避難を理由に7機飛来(30回目)
- 10.14~15 かでなまつり
 - 10.23 B52台風避難を理由に13機飛来(31回目)
- 12.25 B52台風避難を理由に12機飛来(32回目)

平成2年(1990年)

- 1.14 B52台風避難を理由に2機飛来(33回目)
- 2.1 福岡ダイエーホークス2軍キャンプ
- 20 ローリー(租地運用能勢演習)由止を更請
- 3.21 野國總管之像除幕式
- 3.31 農業用施設(養豚酪農完成)
- 41 夏手納・詩公合同ゴミ処理開始
- 5.9 嘉手納町商店街再開発計画事業を町へ答申
- 6.1 中央公民館・図書室・美術・民俗資料室オー プン
- 7.21 米軍演習に対する町民抗議集会
- 8.25 第1回世界のウチナーンチュ大会町出身者 **歓迎会**
- 10.1 嘉手納町電算システム稼働
- 10.13~14 野國總管まつり
- 11.26 水浴・大木線棒②部丁架設丁車閉合式
- 12.18 B52台風避難を理由に1機飛来(34回目)

平成3年(1991年)

- 1.27 町長選挙(宮城篤実氏初当選)(第12代) 9
- 5.1 嘉手納野球場ナイター設備完成 中央公民館3階に大研修室・視聴覚室・多目 的室・和室・調理室を完備
- 5.27 比謝川大橋開涌
- 6.20 嘉手納町子ども育成会結成総会
- 6.22~29 第一次友好訪中団が中国訪問
- 8.15 嘉手納町文化協会設立総会
- 10.1 機構改革(企画総務・民生福祉・建設振興を 柱にスタート)
- 10.8 嘉手納小学校全面改築工事着工
- 10.12~13 野國總管まつり
 - 10.22 嘉手納運動公園(陸上競技場)建設工事着工
 - 129 嘉手納青少年ヤンター設置

平成4年(1992年)

- 1.28 嘉手納地区学習等共用施設・児童館落成式 3.28 野國總管塾開講
- 4.14 在宅老人デイサービス事業開始
- 野國總管公園完成
- 6.27 嘉手納町基地跡地利用フォーラム
- 7.4~11 第二次友好訪中団が中国訪問
- 8.21 新消防庁舎落成式
- 10.11 中国福建省泉州市から文化芸能使節団が来町 民俗芸能の夕べ
- 12.1 第1回嘉手納文化祭

平成5年(1993年)

- 1.17 町議会議員選挙(第12期)
- 4.28 嘉手納小学校全面改築工事落成式
- 10.2~3 野國總管まつり
- 10.17 中国福建省泉州市恵安県が石獅子像を寄贈 (野國總管宮前)
- 10.30 第1回沖縄県立農林学校同窓生の集い⑩

平成6年(1994年)

- 1.1 かでな振興株式会社設立準備室開設
- 4.3 かでな振興株式会社 比謝川行政事務組合 登足
- 7.30~8.6 第三次友好訪中団が中国訪問
 - 9.18 嘉手納陸上競技場完成記念・町民大運動会
- 10.1~2 軽励練管すつり
- 10.30 かでなの教育につくさえれた皆様の親睦と 成謝の生い

平成7年(1995年)

- 1.22 町長選挙(宮城篤実氏2期目無投票当選)(第 13(F)
- 3.30 屋良ふれあいパーク開園式
- 4.14 嘉手納町漁業用施設落成記念式典
- 4.30 比謝川鯉のぼりフェスタ
- 5.1 町再開発推進検討委員会発足
- 5.16 嘉手納小学校プール落成記念式典 中央区コミュニティーセンター・オープン式
- 5.17~6.2 宮城篤実町長が基地問題解決のため訪米
- 75 比謝川行政事務組合 ごみ処理施設起工式
- 8.10~17 太平洋戦争・沖縄戦終結50周年平和事業展 8.15 「非核平和宣言の町」の碑・除幕式⑩
- 10.7~8 野園練管すつり
- 11.20 第2回世界のウチナーンチュ大会町出身者 歓迎の夕べ
- 12.18 嘉手納陸上競技場ナイター設備供用開始
- 12.26 航空機騒音測定システム導入

平成8年(1996年)

- 1.26 町制施行20周年記念式典
- 4.1 「町民会館」を「かでな文化センター」に名称 麥面
- 4.20 上区・中区が統合し「中央区」に名称変更 普天間基地へリ部隊等の嘉手納基地移駐反 会大月ा世校
- 7.6 嘉手納小学校創立40周年記念式典
- 8.22 嘉手納飛行場へのヘリポート移設反対町民 協議会結成
- 10.5~6 野國總管まつり
 - 11.2 屋良小学校創立90周年記念式典·祝賀会
 - 11.9 嘉手納タウンセンター構想を提言「沖縄米 軍基地所在市町村に対する懇談会」
 - 11.23 梶山静六官戻長官が来町
 - 12.1 窓口総合案内設置

平成9年(1997年)

- 1.9 岡本行夫沖縄問題担当首相補佐官来町 1.12 町議会議員選挙(第13期)
- 3.28 第37回沖縄県春季中学校軟式大会優勝
- 4.19 嘉手納タウンセンター構想・地域住民への 説明会
- 5.1 東区学習等共用施設(コミュニティーセン ター)供用開始
- 5.21 宮城篤実町長が防衛施設庁に那覇防衛局の 移設を要請
- 10.4~5 野國總管まつり
- 10.25 平成9年度県高校新人空手道競技大会優勝 12.11 第2回沖縄県立農林学校同窓生の集い

平成10年(1998年)

- 2.21 嘉手納中学校創立50周年記念式典
- 3.4 野國總管記念碑除幕式
- 5.1 嘉手納町立嘉手納外語勢開整 岡本行夫氏第1号町友に認定
- 10.3~4 野國總管まつり
- 10.29 防衛施設局移設決定
- 10.31 嘉手納町体育協会50周年記念式典・祝賀会
- 12.27 野中広務官房長官が来町

平成11年(1999年)

- 1.24 町長選挙(宮城篤実氏3期目無投票当選) (第14代)
- 2.4 嘉手納タウンセンター開発事業権利者協議 会 結成総会
- 2.22 嘉手納町水釜団地建替工事起工式
- 4.5 子育で支援センター「ひまわり」開所式
- 5.1 新町通り改良工事完成記念式典
- 6.4 垂直着陸型AV8Bハリアー戦闘攻撃機墜落
- 8.30 屋良小学校講堂(体育館)及びプール建替工 事起工式
- 10.2~3 野國總管まつり

平成12年(2000年)

- 3.7 マルチメディア関連企業誘致事業・嘉手納 コールセンター完成
- 6.6 屋良小学校体育館(講堂)及びプール落成式
- 10.7~8 野國總管まつり
- 10.23 嘉手納中学校建替丁事起丁式

平成13年(2001年)

- 1.14 町議会議員選挙(第14期)
- 2.21~24 台湾IT産業先進地視察
- 5.22 嘉手納小学校創立45周年記念式典
- 7.9 嘉手納町都市計画(案)説明会
- 7.22 嘉手納運動公園屋内運動場起工式 10.6~7 野國線管まつり
- 10.26 嘉手納町都市計画決定の告示
- 11.2 第3回世界のカデナーンチュ歓迎の夕べ 11.30 第3回沖縄県立農林学校同窓生の集い

平成14年(2002年)

- 1.25 嘉手納中学校校舎落成式
- 2.1 マルチメディアセンター開所式
- 4.1 比謝川行政事務組合ニライ消防本部発足式 (嘉手納、北谷及び読谷の消防本部が合併)
- 7.19 全国知事会が嘉手納基地を視察
- 8.4 復帰30周年記念夏期巡回ラジオ体操・みん なの体操会(3500人余の町民が参加し全国
- 8.5 住民基本台帳ネットワークシステム稼働
- 10.5~6 野國總管まつり

平成15年(2003年)

- 1.10 戸籍事務雷質化
- 1.26 町長選挙(宮城篤実氏4期目無投票当選)(第 15代)
- 1.28 五輪マラソン連続メダリスト有森裕子講演会
- 3.30 県立農林学校創立100周年記念式典
- 4.1 子育て支援センターで障害児学童スタート
- 8.25 住民基本台帳ネットワークシステム二次稼働

10.4~5 野國總管まつり

平成16年(2004年)

- 1.14 地域イントラネット基盤施設整備事業
- 1.24~25 嘉手納中学校ロボットクラブ全国優勝
- 1.25 嘉手納高等学校創立20周年記念式典
- 4.17 屋 R · 千貫田線 開诵
- 5.12 食料品加工センター開所式
- 9.10 野國總管甘藷伝来400年祭イメージソング 「野國のおいも」を録音(作詞・作曲 第二保 育所の皆さん、編曲 アコースティックM 知名勝、唄 嘉手納小学校の生徒)
- 10.2~3 世辞伝来300年祭 野房總管すつり
- 12.31 野國總管甘藷伝来400年祭カウントダウン 大晦日花火大会

平成17年(2005年)

- 1 16 町議会議員選挙(第15)
- 3.31 嘉手納町民住宅完成
- 4.18 新町・ロータリー再開発事業起工式
- 429 ニライ消防木部落成記令式曲
- 6.22 野國總管坐像除幕式
- 6.26 野國總管甘藷伝来400年祭100日前記念公演 『寿に舞う琉球舞踊と古典音楽の夕べ』
- 9.29 野國總管宮奉納灯篭除幕式 野國いも宣言記念碑除幕式
- 9.30 野國總管甘藷伝来400年祭
- 10.15~16 野國總管甘藷伝来400年祭(順延開催) 10.13 第1回 嘉手納基地使用協定に関する町民
 - 会議 11.1 障がい児学童クラブ『あすなろ学童』開所式

平成18年(2006年)

- 1.5 嘉手納基地使用協定締結要請
- (那覇防衛施設局及び外務省沖縄事務所) 1.19 嘉手納基地使用協定締結要請
- (防衛施設庁及び外務省) 1.20 嘉手納基地使用協定締結要請
- (安部官戻長官)
- 1.21~22 嘉手納中学校ロボットクラブ全国3位 2.14 嘉手納中学校体育館等改築工事安全祈願祭 3.31 野國總管甘藷伝来400年祭実行委員会解散
- 総会
- 6.28 町制施行30周年記念式典
- 9.30~10.1 野國總管まつり
- 10.13 第4回世界のカデナーンチュ歓迎の夕べ 11.14 屋良小学校創立100周年記念式典

平成19年(2007年)

- 1.28 町長選挙(宮城篤実氏5期目無投票当選)
- 3.3 屋良小学校創立100周年記念事業期成会解
- 散総会 3.29 嘉手納中学校体育館(講堂)竣工式
- 5.31 嘉手納町食生活改善推進協議会設立総会 7.2 嘉手納町地域活動支援センターてぃんがー
- ら開所式 7.26 中国福建省訪問団来町

1,27~28 第1回嘉手納町産業まつり

- 8.7~9 第32回九州中学校軟式野球競技大会優勝
- 8.22 第29回全国中学校軟式野球大会優勝 10.6~7 野國總管まつり 12.8 嘉手納中学校創立60周年記念式典

⑩第一回沖縄県立農林同窓生の集い 平成5年(1003年)



●「非核平和宣言の町」の破除墓式

平成7年(1995年)



⑩野國總管甘藷伝来400年祭記念式典 平成17年(2005年)



⑤嘉手納高校野球部が春の甲子園出場 平成22年(2010年)



個當山宏町長初当選平成23年(2011年)



⑤ウォーターガーデンオープニング セレモニー 平成24年(2012年)

平成20年(2008年)

- 1.26~27 第2回嘉手納町産業まつり
- 2.23 嘉手納小学校創立50周年記念式典
- 3.9 嘉手納中学校野球部全国制覇記念碑除幕式
- 3.14 YOU·遊·比謝川 20周年記念式典·祝賀会
- 3.28 比謝川行政事務組合美化センター 一般廃棄物最終処分場落成式
- 4.1 ロータリープラザ開所式 沖縄防衛局 新局舎看板除幕式
- 5.9 沖縄防衛局、福岡入国管理局那覇支局 移転歓迎祝智会
- 5.23 嘉手納外語塾開塾10周年記念式典
- 7.5 沖縄米軍基地所在市町村活性化特別事業竣 功式典·祝賀会
- 10.3~5 野國總管まつり

平成21年(2009年)

- 1.11~12,18 第42回女子中学校新人ソフトボール大会優勝
 - 1.18 町議会議員選挙(第16期)
 - 1.22 嘉手納町議会議員当選証書付与式
- 1.31~2.1 第3回嘉手納町産業まつり
 - 4.29 農林健児之像除幕式
- 5.16 ロータリープラザ レリーフ除幕式(梶山 静六元内閣官房長官、岡本行夫元首相補佐 官及び島田晴雄有識者懇談会座長)
- 10.3~4 野國總管まつり
- 10.24~29 秋季九州地区高校野球大会優勝
- 10.31 県立農林学校同窓会解散式典
- 11.7 米軍普天間飛行場の嘉手納統合案に反対す る町民大会
- 11.16 岡田克也外務大臣が来町

平成22年(2010年)

- 1.13 宮城篤実町長が参議院沖縄北方問題特別委 員会と意見交換
- 1.23~24 第4回嘉手納町産業まつり
 - 2.6 B52燃料不足を理由に緊急着陸(35回目) (20年ぶり)
 - 3.21 嘉手納高校野球部が春の甲子園出場®
 - 6.2 平成22年度沖縄県高等学校体育大会男子ソ フトボール競技大会優勝
 - 6.7 志位和夫委員長(日本共産党)が来町
 - 8.7 第3回沖縄県ミニバスケットボール夏季大 会優勝(嘉手納小)
- 10.2~3 野國線管まつり

平成23年(2011年)

- 1.22~23 第5回嘉手納町産業まつり
- 1.30 町長選挙(當山宏氏初当選)(第17代)(8)
- 2.2 常山宏町長当選証書付与式
- 4.1 小中学校における給食費完全無料化実施
- 5.24 富山宏町長が北澤俊美防衛大臣へ嘉手納基 地統合客反対等の要請
- 6.1 平成23年度沖縄県高等学校総合体育大会男 子ソフトボール競技大会優勝
- 6.17 町緊急経済活性化事業実施(2億円規模)
- 7.23~24 第46回女子沖縄県中学校ソフトボール球技 大会優勝
 - 8.28 嘉手納町文化協会創立20周年記念式典·祝 賀会
- 10.1~2 野國總管まつり

- 10.14 第5回世界のカデナーンチュ歓迎の夕べ
- 11.26 嘉手納町全域を対象とした嘉手納町総合防 災訓練実施

平成24年(2012年)

- 1.28~29 第6回嘉手納町産業まつり
 - 2.23 戦場カメラマン渡辺陽一文化講演会
 - 2.28 興南高校野球部監督我喜屋優講演会
 - 4.1 就職支援活動総合窓口設置 組織機構改革
 - 4.7 嘉手納町障がい福祉協議会結成総会
 - 4.27 ウォーターガーデンオープニングセレモニー(6)
 - 5.22 かでな元気プロジェクト事業実施
 - 6.1 嘉手納町住宅リフォーム支援事業実施 告示後住宅への防音工事適用(平成20年3 月10日まで延長)
- 6.4 平成24年度沖縄県高等学校総合体育大会男 子ソフトボール競技大会優勝 平成24度沖縄県高等学校総合体育大会陸上 競技女子円盤投げ優勝(中村校理子)
- 6.16 平成24年度全九州高等学校総合体育大会陸 上競技女子円盤投げ優勝(中村枝理子)
- 7.26 嘉手納町立図書館 電子図書室・ふるさと コーナー オープニングセレモニー
- 7.31 平成24年度全国高等学校総合体育大会陸上 競技女子円盤投げ優勝(中村枝理子)
- 9.8 嘉手納町立図書館ブックスタート事業開始
- 10.6~7 野國總管まつり
- 10.9 道の駅かでな学習展示室 来場者200万人 達成セレモニー
- 10.16 沖縄県文化観光スポーツ部長平田大一講演会
- 11.1 放課後デイサービス事務所「あすなろ」開所式
- 11.6 東国原英夫講演会(町商工会主催)
- 11.7 オスプレイの配備撤回を要求する嘉手納町 民大会
- 12.28 第3階KBC学園杯争奪·第16回沖縄県中学 校新人軟式野球大会優勝

平成25年(2013年)

- 1.13 第46回中学校女子新人ソフトボール大会優勝
- 1.20 町議会議員選挙(第17期)
- 1.26~27 第7回嘉手納町産業まつり
 - 2.4 一般社団法人アジア支援代表理事 池間哲 郎講演会
 - 2.6 国道線形変更に伴うロビー等改修工事定礎式
 - 2.23 嘉手納町PTA連合会創立30周年記念式典· 祝賀会
 - 3.18 乙武洋匡文化講演会
 - 3.28 兼久海浜公園多目的スタンド完成 嘉手納町・読谷村立相互利用に関する協定 調印式
 - 3.29 かでなの民話完成報告
 - 4.21 CV22オスプレイの嘉手納基地配備に反対 する三連協住民大会(北谷町)
 - 4.27 道の駅かでな10周年記念イベント
 - 6.1 南区コミュニティーセンター落成祝賀会
 - 6.24 山村武彦防災講演会
 - 6.29 うたの日コンサート2013in嘉手納
- 10.12~13 野國總管まつり
- 10.15 嘉手納町屋良町営住宅完成
- 10.19 第55回沖縄県中学校陸上競技大会走り高跳
- 10.20 び優勝(比嘉鋼大)
- 12.24 嘉手納高校創立30周年記念式典・祝賀会 第34回中頭地区新人剣道大会団体戦の部優 勝報告(嘉手納中学校女子剣道部)

平成26年(2014年)

- 1.25~26 第8回嘉手納町産業まつり
 - 2.18 嘉手納町商工会40周年·青年部35周年·女 性部30周年記念合同式典·祝賀会
 - 2.28 ジャーナリスト池上彰講演会
 - 6.28 うたの日コンサート2014in嘉手納
 - 7.9 台風8号が沖縄県に上陸。国道58号、県道74 号線、水釜大木線が冠水し、嘉手納町が一時 孤立
- 7.10~11 外務省・防衛省・環境省へ「嘉手納基地に関する諸問題」及び「嘉手納飛行場の航空機の 排気ガスに関する問題」について要請
 - 8.29 嘉手納教職員の集い「總管塾」結成総会
 - 9.25 嘉手納町観光ガイド育成講座開講式
- 10.18 歌手米良美一人権講演会
- 12.22 脳科学者茂木健一郎講演会

平成27年(2015年)

- 1.24~25 第9回嘉手納町産業まつり
 - 2.1 町長選挙(當山宏氏2期目無投票当選) (第18代)
 - 2.6 當山宏町長当選証書付与式
- 2.10 嘉手納老人クラブ連合会創立50周年記念式典
- 2.24 山村武彦防災講演会
- 3.27 嘉手納幼稚園園舎建設工事安全祈願祭
- 3.31 部長制度廃止
- 4.25~26 第38回男子春季中学校ソフトボール大会優勝
- 5.27~28 外務省・防衛相・米軍へ「嘉手納基地に関す る諸問題」について要請
- 6.27 うたの日コンサート2015in嘉手納
- 10.3~4 野國總管まつり
- 11.15 野國總管甘藷伝来410年記念 野國總管甘藷フォーラム

平成28年(2016年)

- 2.29 かでな文化センター
- バリアフリー機能向上工事竣工 3.5 町制施行40周年記念式典・祝賀会
- 嘉手納町観光大使に郷ひろみ氏が就任 3.22 嘉手納幼稚園園舎落成式
- 4.27 嘉手納町学校給食共同調理場建設工事安全 祈願祭
- 5.18 嘉手納小学校屋内運動場建設工事安全祈願祭
- 6.1 屋身幼稚園園舎建設丁事安全祈願祭
- 6.25 うたの日コンサート2016in嘉手納
- 7.17 嘉手納高校野球部第98回全国高等学校野球 選手権沖縄大会優勝 甲子園出場決定
- 8.5 沖縄防衛局へ排気ガス被害の改善について要請
- 10.1~2 野國總管まつり
- 11.13 為末大氏文化講演会

平成29年(2017年)

- 1.21~22 第11回産業まつり
- 2.26 かでな文化センターでNHKのど自慢大会
- 2.28 学校給食調理上落成式
- 3.29 屋良幼稚園園舎落成式 6.24 うたの日コンサート2017in喜手納
- 6.30 嘉手納小学校講堂落成式
- 9.1 北区コミュニティーセンター建替工事安全 祈願祭
- 9.30~10.1 野國總管まつり
 - 12.23 嘉手納中学校70周年記念式典⑩

平成30年(2018年)

- 1 27~28 第12回喜手納町産業まつり
- 3.30 北区コミュニティーセンター落成式
- 3.31 第1回かでなGO!GO!フェスティバル
- 4.27 嘉手納町民農園開園式
- 5.11 嘉手納小学校創立60周年記念式典 5.24 外務省沖縄事務所・沖縄防衛局へ「嘉手納基 地に関する課題類(こつして悪味
- 6.24 うたの日コンサート2018in嘉手納
- 6.29 屋良小学校校舎建設工事安全祈願祭
- 9.29 台風24号が沖縄県に上陸。水釜で高波により、3.8mの浸水被害。西側海岸では約110
- mに渡り堤防の一部や構造物が破損。 10.24 県へ「水釜護岸の早期復旧等の実施につい て」要請
- 11 17 道の駅かでた15周年祭命
- 11.17 道の駅かでな15周年宗**W** 12.24 第2回かでなGOIGO!フェスティバル

平成31年/令和元年(2019年)

- 1.26~27 第13回喜手納町産業まつり
- 1.29 町長選挙
- (當山宏町長3期目無投票当選)(第19代) 2.6 當山宏町長当選証書付与式
- 2.0 畠山太町長ヨ共祉者10 子式
 6.30 うたの日コンサート2019in嘉手納

819 西近区コミュニティーセンター建設丁車安

- 全祈願祭
- 9.26 第2回かでなまちゼミ
- 10.5~6 野國總管まつり 12.7 TIMゴルゴ松本氏文化講演会
- 12./ IIMI 1// 1松本氏
- 12.8 第14回産業まつり 12.24 屋良小学校落成式®

令和2年(2020年)

- 2.9 第3回かでなGO!GO!フェスティバル5.28 特別定額給付金と併せて1人2万円の「生活

9.4 外務省沖縄事務所・沖縄防衛局へ「嘉手納基

地に関する諸問題」について要請

- 支援特別給付金」を給付 7.7 としょかん通帳セレモニー
- 7.15 道の駅かでな増設工事安全祈願祭

11.10 都市再生住宅整備事業起工式

@嘉手納中学校70周年記念式曲

平成20年(2017年)

9道の駅かでな15周年券 平成30年(2018年)



(B屋良小学校落成式 平成31年(2020年)







嘉手納町町勢要覧2021

発 行 日 / 2021年 3月

発 行 所 / 嘉手納町役場 企画財政課

〒904-0293沖縄県嘉手納町嘉手納588

TEL. 098-956-1111

FAX. 098 - 956 - 9508

制作·印刷 / 株式会社 東洋企画印刷